

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/26		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200566011001	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻と幼稚園専攻		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kazuikeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日の3校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標 / Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をするなど)をしておくこと。(4h)		
キーワード / Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書 / Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自らの日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	日本国憲法の学術的な内容について14回にわたって講義をした後、審判が非公開である家庭裁判所の職員の方2名(家裁の書記官と調査官)に、家庭裁判所は実際にはどのような業務を行っているのかを具体的な事例を通して、日本国憲法の学術的な内容(特に司法権、人権等の部分について)をより日常生活に近づけて理解させることを目的する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	憲法の基礎
第3回	国民主権と天皇制
第4回	平和主義
第5回	基本的人権の基礎
第6回	包括的基本権と法の下での平等
第7回	精神的自由権(1)
第8回	精神的自由権(2)
第9回	経済的自由権
第10回	人身の自由・国務請求権・参政権
第11回	社会権
第12回	国会
第13回	内閣
第14回	裁判所
第15回	家庭裁判所

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/28		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200566011002	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井田 洋子 / Ida Yoko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井田 洋子 / Ida Yoko		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育学部 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	smile_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 本館 5 0 6		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日授業後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	国の根本規範としての憲法の実在意義ならびに基本原理(普遍的価値とされる基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制と、日本独自の価値である象徴天皇制と絶対的戦争放棄)を、歴史的、比較法的視点を踏まえ、具体的事例を参考にしながら考察する。		
授業到達目標/Course goals	受講生が 憲法の基本概念を理解し、自分の言葉で説明できるようになること、主権者としての自覚をもち、日本における憲法をめぐる問題を自身の問題として捉え、考えることができること、地球市民として、日本社会だけでなく国際社会の諸問題にも目をむけることができるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	憲法理念に関する具体的問題の理解に関するレポート40点、定期試験(憲法の基本原理の理解・国内外の時事問題・自分の言葉で語るができる能力等を観る)60点の総合評価。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 事前に配布するレジユメの書かれている内容について、特にキーワードを中心に自身で調べること(2h) 事後学習: 授業で取り上げた内容について、教科書やレジユメをもとに理解を深めること(2h)		
キーワード / Keywords	立憲主義、民主主義、国民主権、基本的人権、個人の尊重、		
教科書・教材・参考書 / Materials	【テキスト】伊藤真『伊藤真の日本一やさしい「憲法」の授業』KADOKAWA 毎回の授業においてレジユメを配布するとともに、適宜判例や参考文献についての情報を学生に発信する。 前半・後半共通『ポケット六法』有斐閣等、いずれかの六法書 後半『世界憲法集』岩波書店		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やテレビ等で日々のニュースに触れ、国内外の状況に通じていることが、この授業を理解する上で有益である。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	憲法とはなにか 基本概念の把握—国家、民主主義、立憲主義、法治国家等
第2回	憲法制定過程と2つの天皇制
第3回	国民主権と選挙制度
第4回	法の下での平等
第5回	信教の自由と政教分離
第6回	表現の自由 1
第7回	表現の自由 2
第8回	人身の自由
第9回	社会権
第10回	外国人の人権
第11回	国家権力の構造?立法権と行政権の関係
第12回	司法権
第13回	憲法9条と戦争放棄 1
第14回	憲法9条と戦争放棄 2
第15回	憲法改正問題
第16回	試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200566011003	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部の学生(教育学部の1年生を除く)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Course goals	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価(100%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等)をしておくこと。(4h)		
キーワード / Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書 / Materials	・教科書: 芦部信喜『憲法第七版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	授業は2コマ連続で行われます。 初日(第1回と第2回)の講義を受講していない学生は、単位は取れません。 その上で、4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自らの日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	日本国憲法の学術的な内容について14回にわたって講義をした後、審判が非公開である家庭裁判所の職員の方2名(家裁の書記官と調査官)に、家庭裁判所は実際にはどのような業務を行っているのかを具体的な事例を通して、日本国憲法の学術的な内容(特に司法権、人権等の部分について)をより日常生活に近づけて理解させることを目的する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	憲法の基礎
第3回	国民主権と天皇制
第4回	平和主義
第5回	基本的人権の基礎
第6回	包括的基本権と法の下での平等
第7回	精神的自由権(1)
第8回	精神的自由権(2)
第9回	経済的自由権
第10回	人身の自由・国務請求権・参政権
第11回	社会権
第12回	国会
第13回	内閣
第14回	裁判所
第15回	家庭裁判所

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200566011004	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標 / Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	小テスト1回 (30点) と定期試験 (70点) の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易になる。(2h) 復習 教科書と配布レジュメを再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード / Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書: 野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書 その他: 条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家
第 6 回	基本的人権 1 (総論)
第 7 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 8 回	小テスト
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 10 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 11 回	基本的人権 5 (社会権)
第 12 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 13 回	三権分立 1
第 14 回	三権分立 2
第 15 回	憲法の保障・国法の形式
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200566011005	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲 法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト1回 (30点) と定期試験 (70点) の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易にな る。(2h) 復習 教科書と配布レジュメを再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書: 野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書 その他: 条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家
第 6 回	基本的人権 1 (総論)
第 7 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 8 回	小テスト
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 10 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 11 回	基本的人権 5 (社会権)
第 12 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 13 回	三権分立 1
第 14 回	三権分立 2
第 15 回	憲法の保障・国法の形式
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200566011006	科目番号 / Course code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Course title	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 選択科目, 人文・社会科学科目, 自由 選択科目, 教職免許科目・その他		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	条文と基本概念、主要な裁判例を検討しながら憲法を学ぶ		
授業到達目標/Course goals	憲法が何を定めているのか、自分とどのような関わりがあるのかを理解できるようになる。また憲 法にかかわる諸問題について論説できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト1回(30点)と定期試験(70点)の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 教科書の章立て順に授業を行うので、予め教科書を読んで授業に臨むことで理解が容易にな る。(2h) 復習 教科書と配布レジュメを再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	憲法		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書: 伊藤正己『憲法入門(第4版補訂版)』有斐閣双書 参考書: 野中俊彦ほか『憲法判例集(第11版)』有斐閣新書 その他: 条文は毎回持参すること。国立国会図書館のサイトより印刷可能。 http://www.ndl.go.jp/constitution/etc/j01.html		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	法とは何か、憲法とその他の法律
第 2 回	日本国憲法の沿革
第 3 回	国民主権 1
第 4 回	国民主権 2
第 5 回	平和国家
第 6 回	基本的人権 1 (総論)
第 7 回	基本的人権 2 (法の下での平等)
第 8 回	小テスト
第 9 回	基本的人権 3 (自由権 1)
第 10 回	基本的人権 4 (自由権 2)
第 11 回	基本的人権 5 (社会権)
第 12 回	基本的人権 6 (新しい人権)
第 13 回	三権分立 1
第 14 回	三権分立 2
第 15 回	憲法の保障・国法の形式
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200568003001	科目番号 / Course code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15011_003		
授業科目名 / Course title	物理科学 / Physical Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Course Category	自然科学科目, 自由選択科目, 生命・自然科学科目, 自然科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	anyone		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat nagasaki-u.ac.jp (change to when you send e-mail)		
担当教員研究室/Office	Room 452, New West Building, Faculty of Education (Tentative relocation until August 2020 for renovation of the engineering faculty building)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Please inquire by e-mail.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Knowledge of physics is indispensable not only for understanding the nature, but also for living one's daily life. It is important to reason logically and express accurately in the social life. By learning physics, we can acquire logical thinking and expression with abstract concepts, and develop a clear sense of perspective. This course is a subject to acquire the minimum knowledge of physics necessary for science teachers.		
授業到達目標/Course goals	<p>1. Understand that physics exists in this world with a really rich spread and is closely related to our personal circumstances.</p> <p>2. Learn the ability to think things logically and critically, and solve specific concrete physical problems using basic mathematics.</p> <p>This course corresponds to the next DP and CP of Nagasaki University. Nagasaki University Diploma Policy: -Acquire general-purpose skills that can be used across fields and areas -Acquire basic knowledge and skills as professionals and researchers, and acquire high ethical standards</p> <p>Nagasaki University Curriculum Policy: -Ability to think logically and critically and to acquire quantitative skills</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	Exercise & Report (30 points) and final examination (70 points). Pass mark: 60 points		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	[Preparation] Read the scheduled part of the textbook and try to understand the contents using reference books and the Internet information. Solve textbook exercises in advance as long as they can be solved (2h) [Review] Using class notes, textbooks, reference books, and Internet information as reference, ensure that all exercises can be solved. (2h)
キーワード/Keywords	mechanics, electromagnetism
教科書・教材・参考書/Materials	Textbook: R. Abe, Essential Physics (Saiensu-sha, Co., Ltd. Publishers,2002) ISBN4-7819-1028-9
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	None
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	Nagasaki University is working to remove social barriers and provide reasonable accommodations that could hinder study, in order to ensure that all students have equal access to education. Please consult with the teacher in charge (see the contact details above) or the "Assist Square" (Student Support Office) for support such as reasonable accommodation in class. Assistance Square (Student Support Office) Contact Information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	For details, see LACS.
学生へのメッセージ/Message for students	Perfect attendance is recommended.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	mechanics(velocity, acceleration)
2nd	mechanics(equation of motion)
3rd	mechanics(work, potential energy, kinetic energy, energy conservation)
4th	mechanics(momentum, angular momentum, circular motion)
5th	mechanics(rigid body, moment of inertia)
6th	mechanics(summary)
7th	electromagnetism(current, Joule heat, resistance, electric circuit)
8th	electromagnetism(charge, electric field, potential)
9th	electromagnetism(Gauss's law)
10th	electromagnetism(potential)
11th	electromagnetism(dielectrics, capacitor, dipole moment)
12th	electromagnetism(magnetic field, magnetic flux density, Ampere's law)
13th	electromagnetism(electromagnetic induction, inductance)
14th	electromagnetism(Maxwell's equations, electromagnetic wave)
15th	electromagnetism(summary)
16th	Final Exam

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200568003001	科目番号 / Course code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15011_003		
授業科目名 / Course title	物理科学 / Physical Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Course Category	自然科学科目, 自由選択科目, 生命・自然科学科目, 自然科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部西側新館452 (工学部建屋改修工事のため2020年8月まで仮移転中)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールで受け付ける。 ymat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	自然の成り立ちや振る舞いを理解するだけでなく、日常生活を送る中で物理学の知識は欠かせない。社会生活における状況の理解・判断においても、ものごとを論理的に考え、的確に表現することは非常に重要である。物理学を学ぶことにより、私たちは論理的な思考法や抽象的な概念を用いた表現法を身に付けていくことができ、物事の本質を見抜く目を養うことができる。本科目は理科教員として必要な物理の最低限の知識を身につけるための科目である。		
授業到達目標/Course goals	<p>1. 物理学が実に豊かな広がりを持ってこの世界の中に存在し私たちの身の回りの事柄に深く関係していることを理解できるようになる。</p> <p>2. 物事を論理的・批判的に考える能力を身につけ、基本的な数学を用いて個別の具体的な物理問題を解けるようになる。</p> <p>本科目は長崎大学の次のDPとCPに対応する。 長崎大学のディプロマ・ポリシー： ・分野・領域を超えて活用できる汎用可能な技能を身につけている ・専門職業人や研究者としての基盤的知識・技能を習得し、高い倫理観を身につけている</p> <p>長崎大学のカリキュラム・ポリシー： ・論理的・批判的に物事を考える能力、数量的スキルを身につけている</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	積極的参加状況と演習課題(30点)および最終試験(70点)の合計で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	[予習]教科書の授業予定部分を読み、参考書やインターネット情報を利用して内容の理解を図る。教科書の演習問題も解ける範囲で事前に解いておく(2h) [復習]授業ノートと教科書、参考書、インターネット情報を参考にして、すべての演習問題が解けるようにする。(2h)		
キーワード / Keywords	力学、電磁気学		

教科書・教材・参考書/Materials	教科書：阿部龍蔵著，Essential 物理学（サイエンス社、新物理学ライブラリ別巻1）ISBN4-7819-1028-9 参考書：大学教養レベルの物理テキストなら何でも良いので、授業と並行して複数冊を読むと良い。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	LACSを利用する。
学生へのメッセージ/Message for students	全回出席を原則とする。やむを得ず欠席する場合は事前に電子メールで担当教員に連絡すること。板書と演習を中心に授業を行うので、講義ノートをしっかり作ってください。内容を理解するコツは、とにかくたくさん書くことです。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	力学(速度、加速度などを理解する)
2回	力学(運動方程式などを理解する)
3回	力学(仕事、ポテンシャル、エネルギーなどを理解する)
4回	力学(運動量、角運動量などを理解する)
5回	力学(剛体の運動、慣性モーメントなどを理解する)
6回	力学(力学全体の総括)
7回	電磁気学(電流、ジュール熱、抵抗、電気回路などを理解する)
8回	電磁気学(電荷、電場、電気力などを理解する)
9回	電磁気学(ガウスの法則を理解する)
10回	電磁気学(電位などを理解する)
11回	電磁気学(誘電体、キャパシタ、電気双極子などを理解する)
12回	電磁気学(電流と磁場、磁束密度、アンペールの法則などを理解する)
13回	電磁気学(電磁誘導、インダクタンスなどを理解する)
14回	電磁気学(Maxwellの方程式の意味を理解し、電磁波の性質などを理解する)
15回	電磁気学(電磁気学全体の総括)
16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200569000701	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間レポート(30%) 授業時のふり返り(30%) 最終レポート(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。		
キーワード / Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
2	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
3	部落問題と人権の今(1) (ビデオ視聴と講義)
4	部落問題と人権の今(2) (講義)
5	教科書から土農工商が消えた? (講義)
6	アイヌ問題と人権 (ビデオ視聴と講義)
7	アイヌ問題と人権(2) (講義)
8	在日外国人と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
9	在日外国人と人権(2) (講義)
10	セクシュアルマイノリティと人権(1) (ビデオ視聴と講義)
11	セクシュアルマイノリティと人権(2) レポートの交流
12	ハンセン病と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
13	ハンセン病と人権(2) (講義)
14	人権問題の解決のためのプログラム
15	人権問題の解決のためのワークショップ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200569000702	科目番号 / Course code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Course title	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	scykf338 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-4586-8939		
担当教員オフィスアワー/Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	21世紀は人権の世紀といわれる。本講座は、人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、在日コリアン、セクシュアルマイノリティ等の人権問題と向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標/Course goals	上記の人権問題について、知識として獲得する。他人に話す力をつける。解決のために何ができるのかを議論できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間レポート(30%) 授業時のふり返り(30%) 最終レポート(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	関連する書籍、新聞記事等目を通してください。		
キーワード / Keywords	知識・スキル・態度・行動		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業ごとの資料を配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ネット社会では、様々な情報が飛び交います。フェイクという言葉が注目されるように、情報を見極める力が必要とされます。人権問題については特に、正確な知識と判断する力が求められます。授業を通してこのような力を身に付けてほしいと思います。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	人権に関する意識調査 絵図を使った「人権」探し どんな人権問題を考え、関連する法律や条約を見つける。
2	今なぜ人権教育か? (講義とワークショップ)
3	部落問題と人権の今(1) (ビデオ視聴と講義)
4	部落問題と人権の今(2) (講義)
5	教科書から土農工商が消えた? (講義)
6	アイヌ問題と人権 (ビデオ視聴と講義)
7	アイヌ問題と人権(2) (講義)
8	在日外国人と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
9	在日外国人と人権(2) (講義)
10	セクシュアルマイノリティと人権(1) (ビデオ視聴と講義)
11	セクシュアルマイノリティと人権(2) レポートの交流
12	ハンセン病と人権(1) (ビデオ視聴と講義)
13	ハンセン病と人権(2) (講義)
14	人権問題の解決のためのプログラム
15	人権問題の解決のためのワークショップ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200569001101	科目番号 / Course code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Course title	全学乗船実習 / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	八木 光晴 / Yagi Mitsuharu		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部学生 (1年生から4年生)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yagi-m nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください) (令和2年度実習よりご担当予定)		
担当教員研究室/Office	水産学部本館3階 (A-95)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2809		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木・金の午後3時以降		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	教養モジュール科目の「食の安全と持続的な海洋食料資源の利用?U(人から見た水産業)」で学んだ内容を、より身近な問題として実践的な視点で捉えるため、附属練習船長崎丸に乗船して航海を体験する。これらの体験により、海洋環境や海洋生態系、あるいはそれらと人間の営みを肌で感じ、より深く理解すると共に、異分野の学生が船内生活を通して、通常のキャンパスライフでは困難なコミュニケーション能力、多角的視点、協調性などを修養する。		
授業到達目標 / Course goals	海洋および船舶に慣れ、親しみ、航海・運用術、海洋観測の基礎的実習及び海・船・人間の関係について関わりを習得。また、船内での団体生活の体験により、協調性・寛容性を習得する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	実習への取り組み状況 70% レポート 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前講義(1.5h)実習の目的・概要・船内注意事項・見学施設等についての 事前講義 船、海洋観測、トロール操業等に関する基礎知識 事後講義(1h) 実習の総括、レポート課題等の説明等 ()事前・事後講義 (於 文教キャンパス) および実習の日程は、別途通知する。		
キーワード / Keywords	練習船・海洋実習・海洋観測		
教科書・教材・参考書 / Materials	事前ガイダンス、船内ガイダンスの際に資料を配付する。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	・受講定員は40名 (希望多数の場合は、抽選により受講者を決定する) ・受講者は、必ず傷害保険に加入すること。 ・受講にかかる費用として食費 (4日分) および陸上関連施設利用料 計8,000円程度が別途必要		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 。アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	洋上での貴重な体験をできるのでぜひ積極的に参加して欲しい
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	八木 光晴 (令和2年度実習よりご担当予定) / 附属練習船での乗船経験 / 実船での経験や写真も含めて解説している。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	<p>実習 1 日目 乗船 船内ガイダンス (船内設備、注意事項等の説明) 海洋観測、トロール操業、非常配置表等の説明、日没後プランクトン採集 2 日目 天候・海況により、(1)?(3) のいずれかを実施 (1) 海洋観測、トロール操業、漁獲物調査、ロープ結索練習 (於 東シナ海) (2) 海洋観測、ロープ結索演習、(於 操練が行える湾) (3) 海洋観測、船の位置測定練習、ロープ結索演習、(於 位置測定が行える湾) 3 日目 入港、陸上水産施設 (水族館等) の見学 4 日目 陸上水産施設 (魚市場等) の見学、出港 魚類の加工 (干し物等の作成) 5 日目 下船時のガイダンス (予定、注意事項等の説明) 下船 () 天候・海況によっては、実習の内容を大きく変更することがある。</p>

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200569061401	科目番号 / Course code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Course title	オランダの文化 / Dutch Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Course goals	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。なお、講義の理解度に応じて、課題内容の順番などを変更することがあります。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験、または、レポート(40点)、授業中の提出物・課題(15 x 4 = 60点) = 合計100点のうち60点以上合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	講義で配布された資料を読み、資料と講義の内容に基づいたレポート課題をしたうえで講義にのぞむこと (2h)		
キーワード / Keywords	オランダの歴史・オランダの文化・オランダの社会・オランダの教育		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	N
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	01. オランダの先史時代 02. ローマ時代 (紀元前57年-紀元後500年) 03. 北ヨーロッパでのキリスト教の布教 04. カール大帝 (756 -814)
第2回	05. ヘッペン・オッタ・フォーゴラ 文語の発展 06. フロリス5世 (1254 -1296) とホラント伯 (オランダ) の発展 ・ 英仏100年戦争 ・ 黒死病 (ペスト) 07. ハンザ同盟の貿易 (1356年 - 1450年)
第3回	08. エラスムスと人文主義 (1469 -1536) 09. カール5世 (1500-1558) ・ブルゴーニュ公爵領ネーデルランデン ・カール5世 ハブスブルグ領ネーデルランデン 10. 聖画像・偶像破壊 11a. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり (80年戦争) (1568-1648)
第4回	11b. オラニエ公ウィレム1世 (1533-1584) ・ネーデルランデンの反乱の始まり (80年戦争) (1568-1648) 12. 7ネーデルランデン共和国時代 (1588 -1795) 13. 15・16世紀の美術
第5回	14. オランダ 東インド会社 (1602-1799) 15. 平戸と出島 ・1609年 平戸オランダ商館創立 ・1641年 出島への移動
第6回	16. デ・ベームステル干拓地 (1612) 17. アムステルダム運河 (1613 -1662) 18. 公定オランダ語訳聖書 (1637)
第7回	19b. 黄金時代の芸術 (1602 - 1672) 20. アトラス・マイオル大地図帳 (1662) 21. 黄金時代の学者たち 22. Zeehelden van de Gouden Eeuw 黄金時代の海の英雄たち
第8回	23. 災厄の年 24. 奴隷制 (1637 -1863)
第9回	25. Buitenhuizen in de 17e en 18e Eeuw 17・18世紀の別荘 26. バタビア共和国・バタビア連邦時代 (1795 -1806) ・De Bataafse Republiek バタビア共和国の樹立 (1795- 1801) ・Het Bataafs Gemenebest バタビア連邦の樹立 (1801 -1806)
第10回	27. Napoleon Bonaparte en de Nederlanden ナポレオン・ボナパルテとネーデルランデン ・Koninkrijk Holland ホラント王国時代 (1806 - 1810) ・Onderdeel van het Franse Keizersrijk フランス第一帝国時代 (1810 - 1813) 28. ネーデルランデン連合公国・ネーデルランデン連合王国時代 (1813-1830/39) ・1813年 Soeverein Vorstendom der Verenigde Nederlanden ネーデルランデン連合公国の誕生 ・1815年 Verenigd Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン連合王国の樹立 ・1830年 ベルギー独立宣言・独立戦争 ・1839年 ベルギー独立とネーデルランデン王国の誕生 (1830/1839) 29. Het Koninkrijk der Nederlanden ネーデルランデン王国 1839 ~)

第11回	<p>30. マクス・ハフェラーレ (1860)</p> <p>31. 児童労働</p> <p>32. アレッタ・ヤコブスと女性解放</p> <p>33. フィンセント・ファン・ゴッホ (1853 ? 1890)</p> <p>34. 第一次世界大戦 (1914 ? 1918)</p>
第12回	<p>35. デ・ステイル</p> <p>36. 1920-1930年代 (第一次と第二次世界大戦の間の期間)</p> <p>37a. 第二次世界大戦 オランダ</p>
第13回	<p>37b. 第二次世界大戦 オランダ領東インド</p> <p>38. オランダ領東インドの独立 (1945 - 1949)</p> <p>39. 1975年 オランダ領スリナムの独立</p> <p>40. 旧 オランダ領アンティル諸島</p> <p>41. 1953年の大洪水とデルタ計画</p>
第14回	現在のオランダの 政治・経済など
第15回	現在のオランダの 養育・福祉・行事・食事など

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200569061501	科目番号 / Course code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Course title	オランダの言語 / Dutch Language		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	noboruy nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	言語教育研究センター B-112		
担当教員TEL / Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	初級レベルのオランダ語入門講義です。授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標 / Course goals	初級レベルのオランダ語ができるようにします。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	教材 : プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験 (50点)、宿題課題 (12 x 3 = 36点) 授業中の発表など (14点) = 合計100点のうち60点以上を合格とします。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	講義で配布された資料を学習したうえ講義にのぞむこと。(2h) 講義の内容を復習する(1h)		
キーワード / Keywords	オランダ語、オランダ語入門		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材プリント配布 CD ROM 100円		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	全回出席が原則。CD ROMは必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかり、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	N
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Les 1 'Hallo, ik heet Ronald'
第2回	Les 2 'Wat is uw naam?'
第3回	Les 3 'Woon je hier al lang?'
第4回	Les 4 'Aangenaam kennis te maken'
第5回	1?4 復習
第6回	Les 5a 'Mijn familie' Les 5b 'Hoe laat is het?'
第7回	Les 6 'Wat doe je vandaag?'
第8回	Les 7 'Een week heeft zeven dagen'
第9回	Les 8 'Een afspraakje'
第10回	5?8 復習
第11回	Les 9 'In een restaurant'
第12回	Les 10 'Spreek je Nederlands?'
第13回	Les 11a 'De weg vragen' Les 11b 'De weg vragen'
第14回	Les 12 'Boodschappen'
第15回	9 - 1 2 復習 講義まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588000401	科目番号 / Course code	05880004
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11161_006		
授業科目名 / Course title	教育方法・技術論 / Methodology and Techniques Of Education		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教員免許取得希望者のみ(教育学部以外) 2年生以上		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	学習者の立場に立った教材開発のあり方、教材提示の方法、授業実践と教育方法などについて学習する。特に、コンピュータ等の教育メディアの利用、情報通信技術の利用について、最近の動向を踏まえた事例の紹介などを行う。また、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得し、ICT活用指導力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育工学的な視点から、授業を構成する要素を列挙でき、また、各要素の特徴を理論的な背景を踏まえて説明できる。(基礎的知識を身につける) 2. PCなどを活用して教材を作成することができる。(汎用可能な技能を身につける) 3. 教材分析や授業設計の手続きを説明できる。 4. 授業の設計、実施、評価、改善に慣れ親しむ。(他者とも協働し指導案を検討する) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	課題60%、期末試験40%の配分で評価し、総合点60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にLACS上に資料を掲載するため、予め読んでくること(2h) 事後に各回での授業資料の要点をまとめること(2h)		
キーワード / Keywords	授業設計、教材開発、ICT		
教科書・教材・参考書 / Materials	参考図書 教師のためのインストラクショナルデザイン・授業設計マニュアル 稲垣 忠・鈴木克明編著 (北大路書房) 学習者とともに取り組む授業改善?授業設計・教育の方法および技術・学習評価 松田稔樹 星野敦子 波多野和彦 著(学文社)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	15回の授業を集中講義で実施します。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1-4	「教育方法・技術論」の目標と概要、特に、この授業展開の中心となる「教育工学」に関しての解説を行う。 また、生徒に求められる資質・能力を育成するための教育方法の在り方（主体的・対話的で深い学びの実現など）、教育方法の基礎的理論と実践を理解する。
5-7	基礎的な学習指導理論を踏まえて、目標・内容、教材・教具、授業展開、学習形態（アクティブラーニング技法・協同学習の方法）、評価規準等の視点を含めた学習指導案を作成するため授業構想の検討、教材研究の方法について理解する。
8-10	評価の方法、評価計画の立案（評価の観点と基準）について理解する
11-13	生徒たちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりするために、ICTを利用した教育の方法、その活用のための情報モラル、デジタル教材作成法について学び、デジタル教材作成の実践（グループワークを含む）に取り組む
14-15	授業指導、評価、改善について、グループワークを通し、全体をふりかえる。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	2.0, 0.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588000701	科目番号 / Course code	05880007
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11211_006		
授業科目名 / Course title	生徒・進路指導論 / Academic and Career Guidance		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池田 浩 / Ikeda Ko, 小原 達朗 / Obara Taturou, 野中 光治 / Nonaka Koji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池田 浩 / Ikeda Ko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池田 浩 / Ikeda Ko, 小原 達朗 / Obara Taturou, 野中 光治 / Nonaka Koji		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目, 査定外		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教職希望の工学・多文化社会・経済・環境科学・水産の各学部1?4年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kouikeda nagasaki-u.ac.jp(池田) k-nonaka nagasaki-u.ac.jp(野中) labo nagasaki-u.ac.jp(小原)		
担当教員研究室/Office	教育学部5階527号室(池田)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2234		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメール対応(随時) kouikeda nagasaki-u.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	生徒指導は、一人一人の児童及び生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われる、学習指導と並ぶ重要な教育活動である。他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。進路指導は、児童及び生徒が自ら、将来の進路を選択・計画し、その後の生活によりよく適応し、能力を伸長するように、教育が組織的・継続的に指導・援助する過程であり、長期的展望に立った人間形成を目指す教育活動である。それを包含するキャリア教育は、学校で学ぶことと社会の接点を意識し、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを目的としている。進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的な体制に必要な知識や素養を身に付ける。		

<p>授業到達目標/Course goals</p>	<p>生徒指導の理論及び方法 (1)生徒指導の意義と原理 1)教育課程における生徒指導の位置付けを理解している。 2)各教科・道徳教育・総合的な学習の時間・特別活動における生徒指導の意義や重要性を理解している。 3)集団指導・個別指導の方法原理を理解している。 4)生徒指導体制と教育相談体制そぞ家の基礎的な考え方と違いを理解している。 (2)児童生徒及び生徒全体への指導 1)学級担任、教科担任その他の校務分掌得上の立場や役割並びに学校の指導方針及び学年指導計画に基づいた組織的な取組の重要性を理解している。 2)基礎的な生活習慣の確立や規範意識の醸成等の日々の生徒指導の在り方を理解している。 3)児童及び生徒の自己の存在感が育まれるような場や機会の設定の在り方を例示することができる。 (3)個別の課題を抱える個々の児童及び生徒への指導 1)校則・懲戒・体罰等の生徒指導に関する主な法令の内容を理解している。 2)暴力行為・いじめ・不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解している。 3)インターネットや性に関する課題、児童虐待への対応等の今日的な生徒指導上の課題や、専門家や関係機関との連携の在り方を例示することができる。</p> <p>進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 (1)進路指導・キャリア教育の意義及び理論 1)教育課程における進路指導・キャリア教育の位置付けを理解している。 2)学校の教育活動全体を通じたキャリア教育の視点と指導の在り方を例示することができる。 3)進路指導・キャリア教育における組織的な指導体制及び家庭や関係機関との連携の在り方を理解している。 (2)ガイダンスとしての指導 1)職業に関する体験活動を核とし、キャリア教育の視点を持ったカリキュラムマネジメントの意義を理解している。 2)主に全体指導を行うガイダンスの機能を生かした進路指導・キャリア教育の意義や留意点を理解している。 (3)カウンセリングとしての指導 1)生涯を通じたキャリア形成の視点に立った自己評価の意義を理解し、ポートフォリオの活用の在り方を例示することができる。 2)キャリア・カウンセリングの基礎的な考え方と実践方法を説明することができる。</p>
<p>知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)</p>	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>
<p>学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking</p>	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>
<p>成績評価の方法・基準等/Method of evaluation</p>	<p>演習成果資料・レポート(70%) 授業及び協議への参画態度(30%)</p>
<p>各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson</p>	<p>詳細は授業計画詳細を参照</p>
<p>事前、事後学習の内容/Preparation & Review</p>	<p>担当教員によって指示</p>
<p>キーワード/Keywords</p>	<p>実践的生徒指導力 児童生徒理解 キャリア教育</p>
<p>教科書・教材・参考書/Materials</p>	<p>生徒指導提要(文部科学省)、その他配布資料</p>
<p>受講要件（履修条件）/Prerequisites</p>	<p></p>
<p>アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)</p>	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
<p>備考（URL）/Remarks（URL）</p>	<p></p>
<p>学生へのメッセージ/Message for students</p>	<p></p>
<p>実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）</p>	<p>Y</p>

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		池田浩 / 高等学校教諭としての経験を有している。
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 6月7日(日)	生徒指導の意義と原理(野中)	A B C
第2回 6月7日(日)	生徒指導と教育課程(野中)	A B C
第3回 6月7日(日)	生徒指導の方法と技術(野中)	A B C
第4回 6月7日(日)	部活動の意義とその在り方(野中)	A B C
第5回 6月14日(日)	問題行動と生徒の心理(小原)	A B
第6回 6月14日(日)	生徒指導の実際(全体指導と個別の課題を抱える生徒の指導)(小原)	A B
第7回 6月14日(日)	生指導の実際(演習:事例研究)(野中)	A B C
第8回 6月14日(日)	生指導の実際(演習:事例研究)(野中)	A B C
第9回 7月4日(土)	生徒指導と法(野中)	A B C
第10回 7月4日(土)	家庭・地域・関係機関との連携(野中)	A B C
第11回 7月4日(土)	進路指導・キャリア教育の理念と意義((池田)	A B
第12回 7月4日(土)	進路指導・キャリア教育と教育課程(池田)	A B
第13回 7月11日(土)	進路指導・キャリア教育の指導の在り方(池田)	A B
第14回 7月11日(土)	進路指導・キャリア教育上の課題と指導の実際(池田)	A B
第15回 7月11日(土)	キャリア教育上の課題と指導の実際(指導案作成)(池田)	A B C

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588005301	科目番号 / Course code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 12261_002		
授業科目名 / Course title	芸術と文化 / Arts and Culture		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	主対象、1年~4年 全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	horiuchi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部音楽棟 2階 2		
担当教員TEL/Tel	095 \ 819-2343		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標/Course goals	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることが出来る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	推薦する文化イベントから2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポート による評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭		
教科書・教材・参考書/Materials	その都度指示します		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	心を静めて熱心に芸術鑑賞ができること		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	外部講師の先生方のご都合により、授業内容が変更になる場合があります。授業開始時に、スケジ ュールを示します。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	この授業の進め方、ガイダンス
第2回	「長崎の文化活動について」
第3回	「長崎の文化とマスメディア報道について」 ゲストスピーカー 河野英雄前ブリックホール館長を迎えて
第4回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第5回	「音楽文化活動としての自主文化公演」
第6回	「舞台芸術の鑑賞について」
第7回	「文化イベント・コンサートのつくり方」
第8回	「文化施設に出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第9回	「美術と音楽」ゲストスピーカー、米田館長をお迎えして
第10回	「美術と音楽、そして芸術」
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」
第12回	「季節をめぐるの音楽」
第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」
第15回	「人生の友としての舞台芸術」
第16回	(予備)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200588005701	科目番号 / Course code	05880057
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22319_032		
授業科目名 / Course title	上級外国語(フランス語) / Advanced French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 12:00 ~ 12:50 水曜日 12:00 ~ 12:50 木曜日 10:30 ~ 12:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	フランス語のコミュニケーションの実践力をさらに身につけるための授業です。 自分自身の言葉で明確に考えを表現し、ヨーロッパ共通言語参照枠のA2レベルに相当する授業となります。		
授業到達目標/Course goals	CALL教室やIpadを使用して、復習をしながら、さらに完璧な会話力を身につけることを目標とします。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表50%、課題25%、授業態度25%を総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を提出します。7時間です。 事後学習は、ネット上の練習問題を提出します。8時間です。		
キーワード/Keywords	上級フランス語		
教科書・教材・参考書/Materials	コピーを渡します。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	皆さんの興味・関心があることを教えてください。それらを取り入れながら授業していきます。時間割では水曜6限になっていますが、受講希望者の意見を聞いて、時間割を変えます。受講希望者で水曜6限に来れない場合は、eohashi nagasaki-u.ac.jpに受講可能な曜日と時間をメールしてください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	フランス語の聞き取りをする 文法の復習をする	A B C D
第2回	旅行の会話をグループで作る	A B C D
第3回	「～していたものだった」を学ぶ 1) サッカーをしていた 2) 漫画をよんでいた 3) 塾に行っていた	A B C D
第4回	「未来形」を学ぶ 1) 天気予報を言ってみる 2) 1年の予定を言う 3) ペアレッスン	A B C D
第5回	「関係代名詞」を学ぶ 1) 二つの文をひとつにする 2) チャットをしよう 3) シャンソンの単語を聞き取ろう	A B C D
第6回	友達を映画にさそう会話を考えよう。	A B C D
第7回	パワーポイントで自分の出身県を紹介しよう	A B C D
第8回	発表	A B C D
第9回	T V 5 (フランスのテレビ)を見ながら、買い物、レストランでの注文を実践しよう(1)	A B C D
第10回	T V 5を見ながら聞き取りをしてみよう	A B C D
第11回	絵葉書を書いてみよう	A B C D
第12回	友達とレストランに行く会話を考えよう。	A B C D
第13回	グループワーク(1)シナリオを作ってみる	A B C D
第14回	グループワーク(2)シナリオを作ってみる	A B C D

第15回	グループワーク(3) Ipad でビデオで撮影しよう	A B C D
第16回	発表	A

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200588005801	科目番号 / Course code	05880058
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22419_032		
授業科目名 / Course title	上級外国語(中国語) / Advanced Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講は学生が2年次までに習得した中国語基礎コミュニケーション能力の向上とより高度な表現力の養成をめざす。「読む・書く・聴く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、標準的な日常会話ができる語学力を習得させる。		
授業到達目標/Course goals	テキストをもとに、日常生活によく使われる表現を用いて基本的な文法を学び、標準的な日常会話ができるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト(60%)、口頭発表・課題(30%)、授業への積極的な参加(10%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 事前に指定した教科書・プリントの範囲に目を通すこと、(1時間/回) 復習: 教科書・プリントの該当箇所を復習しておくこと(1時間/回)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	プリント配布		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業に関する説明
第2回	家族について
第3回	趣味について
第4回	勉強について
第5回	買い物について
第6回	スポーツについて
第7回	友達について
第8回	アルバイトについて
第9回	料理について
第10回	旅行について
第11回	学生生活について
第12回	気候について
第13回	交通について
第14回	将来について
第15回	中国語での発表
第16回	レポート提出

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200588005901	科目番号 / Course code	05880059
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22519_032		
授業科目名 / Course title	上級外国語(韓国語) / Advanced Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	3~4年生 全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育B棟1階106番教員研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日3限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	韓国語 ~ で身につけた韓国語コミュニケーション能力を総合し、実践する科目です。		
授業到達目標 / Course goals	<p>リサーチに必要な資料を日韓両言語で収集し、分析することができる。</p> <p>日韓両言語でリサーチを行うことができる。</p> <p>リサーチ結果を、日韓両言語で分かりやすく発信することができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>事前活動 30%</p> <p>現地リサーチ 30%</p> <p>プレゼン 20%</p> <p>最終レポート 20%</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	与えられた課題に向けて図書館やインターネット等で情報収集する等の事前学習を行い、準備しておく(2h-4h)		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites	原則、韓国 ~ を履修した人を対象とします。また教室外リサーチを含め、授業には全回出席しなければなりません。教室外リサーチのための費用は本人負担となります。また受講希望者が、グループリサーチに必要な人数に達しない場合は、開講しないことがあります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	調査地バトル 個人プレゼン / 調査地を決定する / Webで調査地について調べる
第 3 回	リサーチ・トピック 個人プレゼン / リサーチ・トピックを決める / リサーチ方法について調べる
第 4 回	リサーチ方法 個人プレゼン / リサーチ・方法を決定する / リサーチ・クエスチョンを作る
第 5 - 6 回	最終チェック
第 7 - 1 0 回	教室外リサーチ
第 1 1 - 1 2 回	リサーチ結果の集計と分析
第 1 3 - 1 4 回	パワポ制作
第 1 5 回	プレゼン

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588006601	科目番号 / Course code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15771_001		
授業科目名 / Course title	自分のキャリアを考える講座 ~ 男女共同参画とダイバーシティの視点から ~ / Think Your Own Career - From Viewpoint of Gender Equality and Diversity -		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 井口 茂 / Inokuti Shigeru, 伊東 昌子 / Ito Masako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生、2年生 / 1st and 2nd graders		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yuyoshida nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	ダイバーシティ推進センター / Center for Diversity and Inclusion 教育学部220研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12:10?12:50 (教育学部研究室でのみ対応)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形成に役立てる / Through gender equality, work-life balance, diversity, we will use it to form a career as a member of society.		
授業到達目標 / Course goals	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人物像を知ること。ワークライフバランス・ダイバーシティ(多様性)の意味を理解し、自分の将来のキャリア形成に関連付けることができるようになる / To understand yourself, to know what you want to do, to know the person you want to become. Understand the meaning of work-life balance, diversity and be able to relate it to your future career formation		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	レポート50点(50%) + 授業への貢献(プレゼンテーション及び小レポートなどで評価)(50%) = 100点満点のうち60点以上が合格とする。プレゼンテーションは、グループで選んだ課題をグループでまとめて、パワーポイントなどで発表してもらいます / Reports and (50%), presentations・mini reports (50%), In presentation, group chosen tasks and make a presentation using PowerPoint.		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	必要に応じて指示 / Instructions as necessary 事前学習: 自分が現在キャリアをどのように考えているか、介護の体験、ジェンダーのこと、仕事、家庭のことなどを常に考えておくことを求める。メモでもいいので、できるだけ言語化しておくこと(2h) 事後学習: ジェンダーやLGBT、キャリアに関する報道に着目し、イベントに参加するなど、視野を広げる活動を求める。各論については資料を再読し、理解を確実にすること(2h)		
キーワード / Keywords	ダイバーシティ、キャリア、ワークライフバランス / diversity, career, work life balance		
教科書・教材・参考書 / Materials	必要に応じて資料を配布する / Distribute materials as necessary.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	特になし / Nothing in particular		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考 (URL) /Remarks (URL)	http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp , http://nagasaki-ajisai.jp	
学生へのメッセージ/Message for students	この講義を担当するのは、長崎大学ダイバーシティ推進センターの伊東昌子です。長崎大学医学部を卒業して、長崎大学病院で医師として働き、今は同大学ダイバーシティ推進センターに勤務しています。ダイバーシティとは「多様性」という意味で、ダイバーシティ推進とは、さまざまな考え方や価値観を受け入れて、個人が個人としてイキイキと過ごし、自分の「やってみたいこと」「仕事にしたいこと」「こうやって生きたい」と思っていることを実現できるようにすることです。自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方や価値観を尊重することの重要性や生活と仕事の相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思います。/ Masako Ito Masako, Center for Diversity and Inclusion, Nagasaki University is in charge of this lecture. After graduating from Nagasaki University School of Medicine, I worked as a medical doctor at Nagasaki University Hospital and now I work for Center for Diversity and Inclusion. Diversity means "to accept and cherish individual ideas and values". Consider about careers of your life and work, find what you want to be, think about the importance of respecting other people's thinking and values ??in social life, together with the synergistic effect of life and work together. I would like to make meaningful lectures for everyone who is going on.	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	吉田 ゆり/ @病院（児童精神科、小児神経科外来）の臨床心理士として医師の指示の元、発達・知能検査他検査や観察など診察補助を担当。また、療育手帳発行のための資料作成を行った(1年間)。/ @発達障害外来を持つ病院での臨床心理士歴を持つ教員が、発達障害の各論とその指導法について講義/ @横浜市総合リハビリテーションセンター（非常勤）	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 (4月10日)	自分のキャリアを自分で考える：ワークライフバランスとダイバーシティ (吉田)	A D
第2回 (4月17日)	介護（親・祖父母の介護）とキャリア (井口茂)	D
第3回 (4月17日)	介護（親・祖父母の介護）とキャリア (井口茂)	D
第4回 (4月24日)	ワークライフバランスと女性の活躍 (伊東昌子)	B
第5回 (4月24日)	ワークライフバランスと女性の活躍 (伊東昌子)	B
第6回 (5月8日)	アンコンシャスバイアスを知る (伊東昌子)	B
第7回 (5月8日)	アンコンシャスバイアスに対応する (伊東昌子)	D
第8回 (5月15日)	進路選択とジェンダー (中島ゆり)	D
第9回 (5月15日)	進路選択とジェンダー (中島ゆり)	D
第10回 (5月22日)	LGBTについて (吉田ゆり)	D
第11回 (5月22日)	LGBTについて (吉田ゆり)	A
第12回 (5月29日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田ゆり/ゲストスピーカー 中澤紀子)	A
第13回 (5月29日)	豊かに生きるためのコミュニケーション (吉田ゆり/ゲストスピーカー 中澤紀子)	A
第14回 (6月5日)	子育てとキャリア、子育て支援 (吉田ゆり)	A B
第15回 (6月5日)	まとめ (学生同士のディスカッションを中心に) (吉田ゆり)	A B

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588006701	科目番号 / Course code	05880067
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15781_004		
授業科目名 / Course title	データの科学 / Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 生命・自然科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	授業内容に興味・関心がある学生。学年を問わない。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	大学教育イノベーションセンター・アドミッション部門		
担当教員TEL/Tel	095-819-2117		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (eメールで予約してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業は、データに基づく意思決定を行うために必要な、データ収集・整理・表現・分析の基本的な構えと知識・技能を身につけることを目的とする自由選択科目です。なお取り扱うデータは主として社会科学領域のものとしします。		
授業到達目標/Course goals	データを適切なグラフや表で表現しその特徴を読み取れるようになる。 データの要約統計量や集計表に基づきデータの特徴を説明できるようになる。 確率分布の考え方を理解し、確率を用いた意思決定を行えるようになる。 統計的仮説検定のロジックを理解できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	主として、授業中の質問への回答や演習での理解の状況、課題の出来、期末総合課題の結果によって、授業の到達目標を達成したかどうかについて総合的に評価します。評価基準は次の通り。 D: 達成できたとはいえない。(理解できていない内容がある) C: かのうじて授業目標を達成できたとみなせる。(資料や教員の助力があれば質問等に回答できる) B: 授業目標を達成しているが定着度は十分でない。(資料があれば自力で質問等に回答できる) A: 確実に授業目標を達成している。(資料に頼らずに質問等に回答できる) AA: 確実に授業目標を達成しており、身につけた知識・技能を応用できる。(応用的な内容の質問等に回答できる)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業後にその回の授業で何が分かったか・できるようになったか(何が分からなかったか)をブログに記入してもらいます。次回の授業開始時刻までに記入がなければ欠席したものとみなします。必ず記入してください。		
キーワード/Keywords	標本調査, 母集団, 無作為標本, 平均, 中央値, 最頻値, 分散, 標準偏差, 標準化, 種々のグラフ, クロス表, 散布図, 独立, 共分散, 相関係数, 確率, 確率密度, 確率分布, 母数, 推測統計, 統計的仮説検定, 2乗, 単回帰分析		
教科書・教材・参考書/Materials	テキストは指定しません。 授業で用いたスライドを配布します。		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	以下の3つをすべて満たしていない場合、原則として受講を認めません。(早々にドロップアウトしてしまいます。) (1) 第1回目にパソコンを持参している。 (2) パソコンの操作に慣れている。(アプリケーションを起動する、ダウンロードしたファイルを任意のフォルダに保存する、ソフトウェアをインストールする等ができる。OSの設定ができればなおよし。) (3) エクセル、ワードをある程度操作できる。(レイアウトを整えられる、関数を使ったことがある等)
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	参考となるWebサイトです。 ・データサイエンス・スクール (http://www.stat.go.jp/dss/index.htm)
学生へのメッセージ / Message for students	ビッグデータを簡単に得ることができる時代となったのは確かです。それをどう活かすかはスモールデータを適切に扱うための知識や技能が必要です。データの誤用、悪用を見抜く目を養いましょう。特に文系の学生にオススメです。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (11/25)	ガイダンスと準備(授業の概要説明) ・シラバスの確認(受講要件を満たしているかどうか) ・PC環境の整備・LACSの使い方についての説明 ・JMPのインストール 記述統計と推測統計 データの種類 ・質的データ ・量的データ 質問紙によるデータの収集法の特徴
第2回 (12/2)	データの整理と要約(JMP入門) 質的データの要約と二変数の連関 ・単純集計、クロス集計、周辺分布、同時分布 ・二変数の独立、2乗値 ・作図 演習
第3回 (12/9)	量的データの要約と二変数の連関 ・要約統計量: 平均値, 分散, 標準偏差, 標準化 ・二変数の独立, 共分散, 相関係数 演習
第4回 (12/16)	推測統計 ・母集団と標本 ・無作為抽出 サンプリング実験 ・乱数 ・母平均の推定値と標準誤差 ・理論の説明 演習
第5回 (1/6)	確率, 確率変数, 確率分布, 確率密度 ・確率分布とは ・確率に基づく意思決定 演習
第6回 (1/13)	統計的仮説検定(1) ・母平均と母分散が分かっている場合 ・帰無仮説 ・z検定 演習

第7回 (1/20)	統計的仮説検定 (2) <ul style="list-style-type: none">・ 2乗値とは・ 2乗分布・ 帰無仮説・ 2乗値を用いた検定 演習
第8回 (1/27)	回帰分析, 重回帰分析 <ul style="list-style-type: none">・ 従属変数と独立変数 (目的変数と説明変数)・ 回帰係数, 標準化回帰係数・ 変数選択, 重相関係数係数, 決定係数 期末課題 (総合演習)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588007001	科目番号 / Course code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Course title	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab q.vodafone.ne.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>ヒトのからだや生命の仕組みを探る上で、動物の体構造や機能を知ることが大変重要なことである。一方で、我々は、動物の行動という、言葉に代わる動物の表現を把握し、動物との対話を推し進めてきた。現在、ヒトの健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発や作用機構を知るためには動物実験は欠かせないが、その生命を擲ってくれる動物がその行動を通じて我々にどのように情報を与えようとしているのか、我々は的確に判断しなければならない。言い換えれば、物言えぬ動物の行動という言葉の投げかけに対し、十分理解することによって動物との対話が成り立つ。ここでは、行動分析的切り口から動物の行動を学習し、現代の科学的発展への役割を理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 2. 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 3. 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 4. 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 5. 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験(60%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(20%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各テーマ毎に配布する2種類のプリント(動物の行動分析総論,薬物乱用と薬物依存,学習・記憶試験,動物実験とデータ処理に分けて配布するものと,パワーポイントで提示する内容の印刷資料)を配布しますので,配布後は前以てプリントに目を通し,予習・復習を心掛けてください。また,毎回,その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした小テストを授業時間内に実施・回収し,その時に解答例を配布しますので,復習によって学習の完成度を高めます。この小テストの結果は,成績評価の一部に組み込みます。
キーワード/Keywords	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。適宜,ハンドアウトを配布する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び,今後の学習への志向,態度を涵養する。
学生へのメッセージ/Message for students	授業科目名は「生物の科学」で内容は「動物の行動分析と推計学」であり,少し専門的と感ずるかも知れませんが,教養教育としての一般教養レベルです。また推計学と言えれば難しいのではと考えますが,簡単に理解できる初歩レベルです。授業では図表を多用したパワーポイントとハンドアウト資料で,優しく分かり易く説明しています。その日の復習小テストで理解度を確認しつつ進めていきます。そのため到達目標達成度は,2019年ではAA,A評価が61.5%(AA32.7%, A28.8%),最低限の到達目標に届かなかった受講者は9.6%でした(失格,欠席者を除く52名)。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動,動物実験とその意義
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安,ストレス
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験(8) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験(9) 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理(1) 動物実験で使用される基本的検定法1
第12回	動物実験とデータ処理(2) 動物実験で使用される基本的検定法2
第13回	動物実験とデータ処理(3) 動物実験で使用される基本的検定法3
第14回	動物実験とデータ処理(4) メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588007002	科目番号 / Course code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15791_001		
授業科目名 / Course title	生物の科学 / Biological Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab q.vodafone.ne.jp(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール, 電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>ヒトのからだや生命の仕組みを探る上で、動物の体構造や機能を知ることが大変重要なことである。一方で、我々は、動物の行動という、言葉に代わる動物の表現を把握し、動物との対話を推し進めてきた。現在、ヒトの健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発や作用機構を知るためには動物実験は欠かせないが、その生命を擲ってくれる動物がその行動を通じて我々にどのように情報を与えようとしているのか、我々は的確に判断しなければならない。言い換えれば、物言えぬ動物の行動という言葉の投げかけに対し、十分理解することによって動物との対話が成り立つ。ここでは、行動分析的切り口から動物の行動を学習し、現代の科学的発展への役割を理解する。また、授業の後半では、動物の行動を通じて知り得た情報が、単なる偶然の産物なのか、それとも科学的に信頼できる意義のあるデータであるのかを、統計初心者にも分かる簡単な統計的手法を用い、科学的根拠に基づいた動物行動であるかどうかを分析、理解できることもねらいとする。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 2. 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 3. 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 4. 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 5. 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験(60%), 随時行う講義中の小テスト, レポート(20%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	各テーマ毎に配布する2種類のプリント(動物の行動分析総論, 薬物乱用と薬物依存, 学習・記憶試験, 動物実験とデータ処理に分けて配布するものと, パワーポイントで提示する内容の印刷資料)を配布しますので、配布後は前以てプリントに目を通し、予習・復習を心掛けてください。また、毎回、その日の学習課題の復習や発展応用力をねらいとした小テストを授業時間内に実施・回収し、その時に解答例を配布しますので、復習によって学習の完成度を高めます。この小テストの結果は、成績評価の一部に組み込みます。		

キーワード/Keywords	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。
学生へのメッセージ/Message for students	授業科目名は「生物の科学」で内容は「動物の行動分析と推計学」であり、少し専門的と感じるかも知れませんが、教養教育としての一般教養レベルです。また推計学と言えは難しいのではと考えますが、簡単に理解できる初歩レベルです。授業では図表を多用したパワーポイントとハンドアウト資料で、優しく分かり易く説明しています。その日の復習小テストで理解度を確認しつつ進めていきます。そのため到達目標達成度は、2019年ではAA, A評価が68.8%(AA37.5%, A31.3%)、最低限の到達目標に届かなかった受講者は0%でした（失格者、欠席者を除く16名中）。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動, 動物実験とその意義
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安, ストレス
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存
第7回	動物の行動機能試験(6) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験(7) 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験(8) 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験(9) 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理(1) 動物実験で使用される基本的検定法 1
第12回	動物実験とデータ処理(2) 動物実験で使用される基本的検定法 2
第13回	動物実験とデータ処理(3) 動物実験で使用される基本的検定法 3
第14回	動物実験とデータ処理(4) メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588007201	科目番号 / Course code	05880072
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15801_001		
授業科目名 / Course title	ボランティアを通して地域を知る / Discover Your Community Through Volunteer Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 矢野 香 / Yano Kaori, 伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	井口 茂 / Inokuti Shigeru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	井口 茂 / Inokuti Shigeru, 永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 矢野 香 / Yano Kaori, 伊東 昌子 / Ito Masako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	1年生, 2年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shigeru@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科3階 井口教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7962		
担当教員オフィスアワー/Office hours	8時30分-12時, 13時00分-17時30分/8:30-12:00, 13:00-17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>少子・高齢化社会で生きていくために、ライフサイクルにおける課題を理解する。子どもたちの成長過程や親子の絆を学び、また高齢者については、介護の現実と介護者支援の必要性を理解する。講義の中で、実際にボランティアの機会を通して自らも成長し、社会のフィールドにおいて、豊かなコミュニケーション力を育むとともに地域課題に対する学びを深める。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのコミュニケーションにおいて、傾聴できるようになる。(自主的に考え発信する能力) ・ボランティア体験を通して、地域で暮らす高齢者や子どもとその社会について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識)(自主的に考え発信する能力) ・介護している人(介護者)の支援について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識) ・子育ての重要性について理解できるようになる。(社会に貢献できる市民として求められる多様な基礎的知識) ・ワークライフバランスについて、理解できるようになる。(グローバルかつ地域の視点から多様性を理解しようとする態度・志向性)(論理的・批判的に物事を考える能力) 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	プレゼンテーション課題(40点)+レポート課題(40点)+グループワークへの貢献度(20点)=合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 各講義の資料をweb上に掲載するので、あらかじめ目を通して講義の内容及び流れを把握しておくこと。(1h) 復習: 講義のノート及びweb上の資料により復習し、疑問点などをまとめ、フィールドワークについても参加したボランティアの内容についてまとめること。(1h)		
キーワード/Keywords	高齢者、子ども、支援、ボランティア、地域		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する / Distribute materials as necessary		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	指定された日時にフィールドワーク(ボランティア)に参加できること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	注釈：フィールドワークは、日程調整のうえ実施します。1回3時間とし、計2回分の講義（第8回と第10回）への出席・参加として評価します。
学生へのメッセージ/Message for students	本講義では、少子・高齢社会で生きる若い世代のみなさんと、高齢者や介護者支援、ボランティアについて一緒に考えます。今後社会に出て活躍する際に、自身のライフイベントとして避けては通れないことを一緒に考えていきましょう。興味がある方は、是非受講ください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	井口 茂 / 理学療法士として地域活動における実務経験 / 要介護者及び認知症の対象者について必要な基本的知識、技術を指導する。 永橋 美幸 / 助産師として大学病院における実務経験 / 子育てにおける子どもの発達について必要な知識を指導する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回：6月17日 5限目	長寿社会の光と影（担当：井口）
2回：6月17日 6限目	フィールドワークに向けたオリエンテーションとグループワーク（担当：井口）
3回：6月24日 5限目	傾聴を学ぼう（担当：井口）
4回：6月24日 6限目	傾聴を学ぼう（担当：井口）
5回：7月1日 5限目	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ（担当：矢野）
6回：7月1日 6限目	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ（担当：矢野）
7回：7月8日 5限目	認知症サポーター養成講座（担当：井口）
8回：7月8日 6限目	フィールドワーク
9回：7月15日 5限目	若年性認知症について（担当：井口）
10回：7月15日 6限目	フィールドワーク（担当：井口）
11回：7月22日 5限目	こどもの心と身体の発育・発達（担当：永橋）
12回：7月22日 6限目	こどもの心と身体の発育・発達（担当：永橋）
13回：7月29日 5限目	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション（担当：井口）
14回：7月29日 6限目	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション（担当：井口）
15回：8月5日 5限目	事例検討、ディスカッション、総評（担当：井口）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588010001	科目番号 / Course code	05880100
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11411_001		
授業科目名 / Course title	平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 寺井 清宗 / Terai Kiyonori, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 寺井 清宗 / Terai Kiyonori, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 冨塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takahasi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>笠を負って長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？産業は？地域が誇るものは？原爆被災や復興は？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長崎大学や長崎の歴史、文化、文学、産業の概要が説明できるようになる。 2. 多面的なものの見方、考え方があることを理解できる。 3. 歴史、文化、文学、産業の長崎独自性について意見を展開できるようになる。 4. 長崎のより深い知識、理解を発展させる学習意欲を身に付ける。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します(100%)。授業中に配布するレポート用紙を用いること(用紙のコピーなど不正用紙の使用は採点しません)。配布時に不在の場合、レポート用紙は渡しません。授業に欠席・大幅な遅刻の場合、正当な理由を除きレポートは受け付けません。提出期日に遅れて提出したレポートは受理しないか、あるいは減点します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業の特性上、各回の授業内容に関するハンドアウトは当日配布になると思われますので、通常の事前学習は難しいかもしれません。しかし、各回それぞれの授業内容に関連する分野・領域について広く予習をしておくことで授業が理解しやすいでしょう。毎回、レポートの提出となりますので、与えられた課題に対する完成度の高いレポート作成のためには授業の復習のみならず関連資料の調査が必須となります。		
キーワード / Keywords	長崎大学、長崎、長崎学、シーボルト、ポンペ、長崎の歴史、長崎の文化、長崎の産業、世界遺産、長崎と原爆		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	毎回の積極的な授業への出席を前提に、受講態度や提出するレポート内容で評価します(100%)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	平成28年度から開講されている必修科目「長崎地域学」にも広く連携しており、多面的に長崎のことを深く学べる科目です。
学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることです。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。 授業は基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	寺井清宗 / 農林技術開発センター茶業研究室 主任研究員の実務経験を有している。 / 農林技術開発センター茶業研究室主任研究員の実務経験を活かし、長崎県の茶業について幅広い知識と研究に関する相違工夫をもって、学生たちへ長崎の産業、文化を多面的な視点からとらえることができるよう指導する。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時） / Time（date and time）	授業内容 / Contents
第1回	1) 科目の趣旨説明, 講義概要, 講義の進め方, 長崎大学の現況（高橋）
第2回	1) 岬の教会とシーボルトの鳴滝塾（相川・特別講師）
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化（相川・特別講師）
第4回	3) ボンベ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習（相川・特別講師）
第5回	2) 長崎の歴史を築いた人々～長崎の三大女傑(1)（高橋）
第6回	3) 長崎の歴史を築いた人々～長崎の三大女傑(2)（高橋）
第7回	1) 長崎とお茶 ～古から現代まで～（寺井）
第8回	1) シーボルトが使ったくすり～19世紀長崎での薬の輸入と革新（田中）
第9回	1) 長崎と原爆 1（冨塚）
第10回	2) 長崎と原爆 2（冨塚）
第11回	4) 長崎が誇る世界遺産1（高橋）
第12回	5) 長崎が誇る世界遺産2（高橋）
第13回	6) 長崎事始め～長崎県の日本一・世界一（高橋）
第14回	7) 長崎文学散歩, 長崎の歴史散策紹介（高橋）
第15回	8) 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ（高橋）
第16回	予備日

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588015002	科目番号 / Course code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 03161_003		
授業科目名 / Course title	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宇佐美 寛 / Usami Kan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	宇佐美 寛 / Usami Kan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	宇佐美 寛 / Usami Kan		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教、医、薬、情、工、環、水 高校での未履修者等を対象とする。所属学部履修許可が必要。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高等学校「物理基礎」の内容のうち、「物体の運動」に関する部分を中心に取り上げる。物体の運動が基本原理(ニュートンの運動の3法則、特に運動方程式)によって記述されること、また、この基本原理から力学的エネルギー保存則が導かれることを学ぶ。さらに、エネルギーの概念は、電磁気分野においても適用されることを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	1. 物体の運動を、時間変化する量(位置、速度、加速度)のグラフや式で表すことができる()。 2. 運動方程式を立てることができる()。 3. 一定の力がはたらくときの運動方程式を解くことができる()。 4. 力学的エネルギー保存則から運動に関する情報を得ることができる()。 5. 簡単な電気回路での電流、電圧、ジュール熱などを求めることができる()。 6. 電場、磁場、電磁誘導について説明でき、誘導起電力の大きさを求めることができる()。 7. 電磁気現象におけるエネルギー保存則を説明できる()。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験60% 小テスト25% (授業時に実施) 提出課題10% 授業への取組み5%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の授業の復習として、問題演習を十分に行うこと。(2h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	教材：九州高等学校理科教育研究会、「物理基礎研究ノート2020」、博洋社		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	宇佐美 寛/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目は、高校において物理基礎を履修していない者を主たる対象として実施する科目である。本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校程度の物理に関するリメディアル授業を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	位置、速度
第2回	加速度
第3回	力とつり合い
第4回	運動の法則
第5回	物体系の運動
第6回	摩擦力
第7回	力が一定でないときの運動
第8回	仕事、運動エネルギー
第9回	重力による位置エネルギー
第10回	弾性力による位置エネルギー
第11回	保存力と非保存力
第12回	電気回路
第13回	電場
第14回	磁場
第15回	電磁誘導
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588015101	科目番号 / Course code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC_03211_003		
授業科目名 / Course title	基礎化学 / Basic Chemistry		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教、医、情、工、環、水 高校での未履修者等を対象とする。所属学部履修許可が必要。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851 mxb.cncm.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的 基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Course goals	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連 の分野で活用できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います 。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各授業回終了ごとに、授業範囲の復習と問題演習に取り組んでください。		
キーワード/Keywords	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Materials	数研出版 「改訂版 化学基礎」		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席が原則。教科書も必ず準備すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないましょう。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	筒井 保之/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目については、入試において一定の成績を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である。本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 1 物質の構成
第2回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表
第3回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子
第4回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属
第5回	(6)化学結合のまとめ・結晶 4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量
第6回	(2)物質量 (3)化学反応式
第7回	(4)化学反応式と物質量
第8回	(5)演習
第9回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基
第10回	(2)水の電離と水溶液のpH
第11回	(3)中和反応
第12回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第13回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第14回	(3)酸化還元反応 (4)金属の酸化還元反応
第15回	(5)演習 (6)酸化還元反応の利用
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588015202	科目番号 / Course code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 04111_004		
授業科目名 / Course title	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年 高校での未履修者等を対象とする。所属学部履修許可が必要。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10 yahoo.co.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用 していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Course goals	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平 常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する 。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習; 事前に学習内容を連絡するので、高校の「生物基礎の教科書」を 使って予習しておくこと。(1h) 復習; 講義の最後に確認テストを毎回実施するので、問題演習の内容と 解答したことを確認しておくこと。(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	高等学校「生物基礎」(数研出版)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者 、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科 目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第一章 生物の特徴 生物の多様性 ?生物の共通性と多様性の起源 ?生物の特性 ?細胞の多様性
第2回	第一章 生物の特徴 細胞の構造にみられる共通性 ?代謝とATP ?ATPの構造と働き
第3回	第一章 生物の特徴 葉緑体も構造と色素 ?光エネルギーの吸収 ?光合成の過程
第4回	第一章 生物の特徴 ミトコンドリアと細胞質基質 ?呼吸の過程
第5回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体 ?DNAの構造
第6回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配 (・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)
第7回	第二章 遺伝子とその働き タンパク質 転写と翻訳 タンパク質の合成
第8回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子とゲノム 細胞内での遺伝子の発現
第9回	第三章 生物の体内環境 恒常性とは 体液の種類 血液の成分と働き ?酸素の運搬 ?血液凝固
第10回	第三章生物の体内環境 肝臓の働き 体液の濃度調節 (・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節)
第11回	第三章生物の体内環境 魚類にみられる体液の調節 ほ乳動物にみられる体液の調節 (腎臓の働き)
第12回	第三章 生物の体内環境 免疫 (・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法)
第13回	第三章 生物の体内環境 自律神経系と内分泌系 (・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節)
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 生物の多様性とバイオーム バイオームの形成過程 バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 生態系の成り立ち (食物連鎖と栄養段階) 物質循環とエネルギーの流れ (炭素、窒素の循環) 生態系のバランスと保全 自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588015301	科目番号 / Course code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC_03261_003		
授業科目名 / Course title	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	本講座の「基礎数学Q1」は主として大学入学前教育(数学講座)を受講した者を対象とします。それ以外は、「基礎数学Q2」を受講してください。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	入試課 中川教員研究室		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校学校で学ぶ微積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標/Course goals	高等学校で身に付けておくべき微積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数(三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深める。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	入学前教育で取り組んだ演習ノートを中心に学習をすすめるため、理解で来ていない箇所を明確にして授業に臨む。		
キーワード / Keywords	微積分の基礎力を身に着ける。		
教科書・教材・参考書 / Materials	入学前教育で使用した「微積分ノート」を使用する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	当講座は、基本的に工学部の入学前教育の継続で開講しますが、それ以外の人を拒むものではありません。希望者がいれば、テキストを配布しますので事前に連絡ください。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中川 幸久/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目については、入試において一定の成績 を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である。 本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメディ アル授業を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1 . 平均値の定理 ~ 6 . 3次関数の極値
第2回	7 . 3次関数のグラフ ~ 9 . 方程式とグラフ
第3回	10 . 不定積分 ~ 13 . 定積分と微分
第4回	14 . 図形の面積 ~ 17 . $(ax + b)$ の累乗の積分
第5回	18 . 微分可能 ~ 22 . 指数関数の導関数
第6回	23 . 陰関数の導関数 ~ 25 . 様々な関数の導関数
第7回	26 . 曲線の接線 ~ 29 . 平均値の定理
第8回	30 . 4次関数の増減 ~ 34 . 分数関数
第9回	35 . 2次導関数と極値 ? 40 . 不定積分 (置換積分)
第10回	41 . 不定積分 (部分積分) ~ 43 . 定積分
第11回	44 . 定積分 (置換積分) ~ 47 . 定積分 (置換積分)
第12回	48 . 定積分 (部分積分) ~ 51 . 図形の面積
第13回	52 . 立体の体積 ~ 55 . 曲線の長さ
第14回	三角関数の逆関数
第15回	双曲線関数
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588015302	科目番号 / Course code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC_03261_003		
授業科目名 / Course title	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihiisa		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学年 (基本的に経済学部のアO・推薦入試で合格した人を対象にしています)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	入試課 中川教員研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00-17:00) 火曜日(13:00-17:00) 木曜日(13:00-17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校学校で学ぶ数学 および数学A, 数学 および数学Bの分野を学習し、大学の学修への円滑な連携を図る。		
授業到達目標/Course goals	高等学校で身につけておくべき数学の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等数学の理解を深める。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	高校数学の基礎力を身につける。		
教科書・教材・参考書/Materials	開講時に配布する「テキスト」を使用する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	基本的に経済学部のアO・推薦入試で合格した人を対象としています。高等学校で学ぶ数学の総復習を行います。意欲のある人の受講を望みます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中川 幸久/高等学校教諭としての経験を有している。/本科目については、入試において一定の成績 を収めていない学生又は、高等学校の普通科以外の学科の卒業生を主に対象に実施する科目である。 本講師はこれまでの学校現場における教員経験を活かし、高校6年間程度の英語に関するリメディ アル授業を指導する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. 式の計算
第2回	2. 等式・不等式の証明
第3回	3. 恒等式
第4回	4. 2次方程式の解
第5回	5. 因数分解
第6回	6. 3次方程式
第7回	7. 図解と方程式
第8回	8. 指数関数
第9回	9. 指数・対数
第10回	10. 対数関数
第11回	11. 関数の極限
第12回	12. 整関数の微分
第13回	13. 3次関数のグラフ
第14回	14. 3次関数のグラフ
第15回	15 総演習
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588015402	科目番号 / Course code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 02811_002		
授業科目名 / Course title	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡村 真由美 / Okamura Mayumi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	高校での未履修者等を対象とする。所属学部履修許可が必要。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gto2_mayumi3 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	gto2_mayumi3 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	gto2_mayumi3 yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	簡単な英字新聞(毎日ウィークリー)の記事を教材に、国内外の社会問題や外国人から見た日本の 風土や文化について学ぶことで、英語の基礎力を強化します。		
授業到達目標/Course goals	・英語で書かれた身近な社会問題に関する文章を読解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation			
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習 提示された内容に目を通し、知らない単語を調べ、疑問点を明らかにしてくる。(1h) 復習 学習した内容を再読し、口頭でも表現できるようにする。(1h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	主な教材は全て用意しますが、副教材として、文法の参考書・問題集を購入してください。 啓林館 『整理と演習 英文法』(生協にて販売)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	簡単な英字新聞(毎日ウィークリー)の記事から大学生が関心をもつようなニュースを抜粋して教 材とします。英語が苦手な人でも楽しく学べるよう工夫します。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
6月17日5校時	・オリエンテーション(自己紹介と授業の進め方について) ・基礎力診断テスト ・アンケート調査 ・INCREDIBLE ANIMALS
6月17日6校時	・iNCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 1 ・文法事項の確認(動詞、準動詞)
6月24日5校時	・小テスト(復習及び予習の確認) ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 2
6月24日6校時	・小テストの解説 ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 2(続き) ・文法事項の確認(準動詞)
7月1日5校時	・小テスト(復習及び予習の確認) ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 3
7月1日6校時	・小テストの解説 ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 3(続き) ・文法事項の確認(準動詞)
7月8日5校時	・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 4 ・文法事項の確認(関係詞)
7月8日6校時	・総復習 中間試験(第1回~第6回までの学習内容から出題する)
7月15日5校時	・小テスト(復習及び予習の確認) ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 5
7月15日6校時	・小テストの解説 ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 5(続き) ・文法事項の確認(分詞構文)
7月22日5校時	・小テスト(復習及び予習の確認) ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 6
7月22日6校時	・小テストの解説 ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 6(続き) ・文法事項の確認(比較構文)
7月29日5校時	・小テスト(復習及び予習の確認) ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 7
7月29日6校時	・小テストの解説 ・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 7(続き) ・文法事項の確認(仮定法)
8月5日5校時	・INCREDIBLE ANIMALS ・Today's News 8 ・総復習
8月5日6校時	期末試験(第7回、第9回~第15回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200588020901	科目番号 / Course code	05880209
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Course title	English for Specific Purposes (A) / English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-okuda_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教養教育講義棟 B棟1階		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 3 限目		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	TOEIC問題を教材としたリーディングとリスニングの学習を行う。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。		
授業到達目標 / Course goals	1. 必要な情報を正しく適切に聞き取り、読み取ることができる。 2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間テスト: 30%、期末テスト: 30%、小テスト: 20%、授業への参加度: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	単語力をつけるため、授業外でも単語を覚えましょう。 事前に学習する単語については、単語リストを配布します。		
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials			
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y e-learning (単語) 自学自習 (合計30時間) 予習: 事前に指定した内容について調べ、次の時間に発表できるように準備する。(1時間/回) 復習: 配布資料等を見直し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については次の授業までにLACSの掲示板に投稿すること。(30分/回)	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	オリエンテーション アンケートの実施 学習方法の説明 リスニングセクションを解き、自分の弱点を見つけ、学習方法を考える	A
第2回	リスニング強化(1) PART1の概要とポイント	A C
第3回	リスニング強化(2) PART2の概要とポイント	A C
第4回	リスニング強化(3) PART3の概要とポイント	A C
第5回	リスニング強化(4) PART3の概要とポイント	A C
第6回	リスニング強化(5) PART4の概要とポイント	A C
第7回	リスニング強化(6) PART4の概要とポイント	A C
第8回	中間テスト(リスニング) リーディングセクションを解き、自分の弱点を見つけ、学習方法を考える	A C
第9回	リーディング強化(1) PART5の概要とポイント	A C
第10回	リーディング強化(2) PART5の概要とポイント	A C
第11回	リーディング強化(3) PART6の概要とポイント	A C
第12回	リーディング強化(4) PART6の概要とポイント	A C
第13回	リーディング強化(5) PART7の概要とポイント	A C
第14回	リーディング強化(6) PART7の概要とポイント	A C
第15回	総復習	A C

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20200588021001	科目番号 / Course code	05880210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Course title	English for Specific Purposes (B) / English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp (メールをする際は、 を@に置き換えてください。) (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	TOEIC問題を教材としたリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。パートナーと疑問点を話し合い、意見を交換し、その後全体でそれぞれの問題を共有する、という活動を含む。予習してきた内容に基づいて授業を進めていく。毎回無作為に指名して発表してもらう。必要に応じてプリントやインターネットを使用する。小テストを数回行う予定。		
授業到達目標/Course goals	自分が必要とする情報を正しく適切に選ぶことができる。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。TOEICの特徴を踏まえて、問題に取り組むことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	定期試験65%、ペア発表15%、小テスト10%、授業への積極的な参加状況10% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・予習：事前に指定した教科書の範囲に目を通すこと (1.5 時間 / 回) 内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リーディングは、TOEICでは特に速読の力が必要ですが、授業では部分的に丁寧に読むこともしていきます。予習の段階ではまず速読、それから精読を意識して読んでみてください。見慣れない単語が出てきたら、少しずつ覚えていきましょう。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。 ・復習：教科書やプリントを再読し、理解を確実にするよう努め、また理解が不十分な点については、次の授業までに質問できるよう整理しておくこと (1 時間 / 回) 授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。 		
キーワード / Keywords			

教科書・教材・参考書/Materials	安丸雅子『TOEIC L&Rテスト攻略の鍵』（金星堂，2020年）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それ以降の入室は欠席扱いとなります。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業の進め方の説明、TOEIC Listening & Reading Testについて
第2回	Daily Life 1(文型・品詞) / VOA Learning English
第3回	Daily Life 2(文型・品詞) / Shopping 1(代名詞・疑問詞)
第4回	Shopping 2(代名詞・疑問詞) / BBC Learning English / 内容確認小テスト
第5回	Parties & Events / (形容詞・副詞) / 内容確認小テスト
第6回	Traffic & Travel(前置詞) / 内容確認小テスト
第7回	インターネット上の英語を読む
第8回	Office Work 1(接続詞)
第9回	Office Work 2(接続詞) / Marketing & ICT 1(名詞・主語と動詞の一致)
第10回	Marketing & ICT 2(名詞・主語と動詞の一致) / Production & Logistics 1(助動詞) / 内容確認小テスト
第11回	Production & Logistics 2(助動詞) / Employment 1(時制)
第12回	Employment 2(時制) / British Council
第13回	Personnel 1 (受動態) / 内容確認小テスト
第14回	ペアでの会話発表 (日常の一場面を英語で演じる)
第15回	リスニング・リーディングポイントの確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588022101	科目番号 / Course code	05880221
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15811_002		
授業科目名 / Course title	社会生活における情報活用術 / Applications of ICT in Social Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 宇都宮 謙 / Utunomiya Yuzuru, 上繁 義史 / Ueshige Yoshifumi		
科目分類 / Course Category	総合科学科目, 自由選択科目, 生命・自然科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟25 / RoomC-25		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日10:00 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代の情報社会を生き抜いていくためには、必要な情報を的確に収集・分析し、適切に加工・発信するスキルを身につけることが必要である。本科目では、情報科学科目「情報基礎」で学んだ知識と技能を発展させて、断片的な情報を統合し、それらの価値を増幅させる能力を習得させることを目的としている。 情報の可視化技法や文書作成技法などの実践的な技能を身につけるとともに、プログラミング演習により表計算ソフトの関数がどのように計算処理されているかを理解する。また、さまざまな情報を生成し消去に至る過程に着目したとき、情報セキュリティの視点からこれらの情報を適切に取り扱う方法について学習する。		
授業到達目標/Course goals	デジタル文書作成技法を理解し、整った報告書(レポート)を効率的に作成できる。 表計算技法を理解し、数値データのデータ分析に応用し、その結果をグラフ等で表現できる。 情報セキュリティの基本的な考え方や技術の概要を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中の演習課題および授業時間外に課す予習・復習・レポートの提出状況とその内容を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】授業資料を授業前にLACS上にアップするので、熟読しておくこと。わからない用語について調べるとともに基礎課題に取り組むこと。(2H) 【復習】各単元のレポート課題に取り組むこと。(2H)		
キーワード/Keywords	デジタル文書作成技法、表計算技法、情報セキュリティ、プログラミング		

教科書・教材・参考書/Materials	<p>【教科書・教材】 LACS上で提供する教材。</p> <p>【参考書】 [1] 高杉尚孝：『論理表現力』, 日本経済新聞社, 2010年6月。 [2] テクニカルコミュニケーター協会：『日本語スタイルガイド 第2版』, テクニカルコミュニケーター協会, 2011年4月。 [3] 古郡延治：『論文・レポートの文章作成技法 論理の文章術』, 日本エディタースクール出版部, 2006年3月。 [4] 富士通エフ・オーエム株式会社：『Microsoft Office Specialist Microsoft Word 2016対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2017年3月。 [5] 富士通エフ・オーエム株式会社：『Microsoft Office Specialist Microsoft Excel 2016対策テキスト&問題集』, FOM出版, 2017年3月。 [6] クリストファー・ハドナジー著、成田光彰訳、「ソーシャル・エンジニアリング」、日経BP社、2012年11月 [7] 情報科学科目「情報基礎」のテキスト</p>
受講要件（履修条件）/Prerequisites	<p>全回出席を原則とする。やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。授業中だけでなく、授業時間外においても、課題および予習・復習等に取り組むこと。授業には必ずノートパソコンを持参すること。初回授業より利用する。</p>
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考（URL）/Remarks (URL)	<p>https://lacs.nagasaki-u.ac.jp</p>
学生へのメッセージ/Message for students	<p>本科目では、予習 授業 復習による学習サイクルを確実に実施することが欠かせない。この学習サイクルを確実に行うことで、本科目の学習内容がただ難解なコンピュータの話などではなく、私たちの生活全般にかかわる身近な事柄であることを学びとってもらいたい。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	<p>Y</p>
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>実務家教員名：丹羽量久（第1,2,5,6,9,10回） 実務経験内容： 社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。 実務経験に基づく教育内容： 顧客や社内向けの報告書を作成した経験を生かして、いかに相手に伝わるように構成するか（文章構造と論理展開および各種データの可視化）に重点を置き、講義に加えて多数の関連する演習に繰り返し取り組ませる。</p> <p>実務家教員名：上繁義史（第3,4,7,8,11,12回） 実務経験内容： 財団法人北九州産業学術推進機構、財団法人九州システム情報技術研究所にて、研究員としてIT関連技術の研究に従事 実務経験に基づく教育内容： 情報セキュリティの技術系、人間系の課題とその対策を中心に多面的な話題について講義・演習を行う。</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	<p>【ガイダンス】 この科目の概要、目的、目標、内容、進め方、評価方法について説明する。 情報科学科目「情報基礎」の授業内容に関連した復習課題を指示する。 【文書作成技法(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 読者に誤解が生じないように文章表現を明瞭にすることは重要である。文書作成技法の一つとして、論理展開に対応した文の接続に重点を置いて、文書構造を意識して助詞や接続詞を使い分ける方法について講義する。関連する新聞記事等を取り上げた演習により、論理展開に沿った適切な文の接続について考える。 また、一連の文書作成作業を容易にかつ効率的に作業するスキルも備えておくべきである。文書データの構造化を意識した文書作成ソフトの活用方法として、Microsoft Wordの機能（校閲機能、検索・置換等）を取り上げて、共同作業を交えながら演習課題に取り組んでいく。</p>
第2回	【文書作成技法(2/2)】
第3回	<p>【情報社会の安全を脅かす脅威の数々(1/2)】 (独)情報処理推進機構が毎年発行している「10大脅威」を題材として、ICTなどの安全な利活用を阻害する技術的な脅威の最新トレンドを学習する。</p>
第4回	【情報社会の安全を脅かす脅威の数々(2/2)】

第5回	<p>【分析のための可視化(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 さまざまな情報の特徴等を考察する際、それらを視覚的に表現することは理解を助けるために有効な手段である。 各回の授業では、情報の変換、グラフを用いた分析、グラフ作成の原則についての講義を行い、可視化の重要性について理解を深める。 Microsoft Excelによるグラフ(円グラフ、組み合わせグラフ、散布図等)の描画法を習得した後、与えられた課題の目的に応じて、データ群をどのように可視化するのがよいかを考える発展課題に取り組む。</p>
第6回	<p>【分析のための可視化(2/2)】</p>
第7回	<p>【情報を守る技術の基礎(1/2)】 最近利用されている代表的な情報セキュリティ技術として、暗号、デジタル署名、認証についてその技術的な手法を学ぶとともに、安全性の根拠の概要を学ぶ。</p>
第8回	<p>【情報を守る技術の基礎(2/2)】</p>
第9回	<p>【表計算技法(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 Microsoft Excelを使って数値データの関連性を分析する手法を学ぶ。 たとえば、「相関係数」や「単回帰分析」を取り上げて三つの方法(数式を設定、関数を利用、分析ツールを利用)により計算処理を行う。</p>
第10回	<p>【表計算技法(2/2)】</p>
第11回	<p>【ソーシャルエンジニアリングに見る人間のセキュリティ(1/2)】 人間の心理的な脆弱性を突いて、情報を入手したり、破壊したりしようとする攻撃手法「ソーシャルエンジニアリング」がどのように行われるかを学習し、攻撃から身を守るための術を考える。</p>
第12回	<p>【ソーシャルエンジニアリングに見る人間のセキュリティ(2/2)】</p>
第13回	<p>【プログラミング(1/2)】以下の内容を2回に分けて取り上げる。 Microsoft Excelで学んだ統計解析をR言語を使ってもできることを演習を通じて確認し、プログラミングへの理解を深める。</p>
第14回	<p>【プログラミング(2/2)】</p>
第15回	<p>【プログラミングの解説および復習】 授業で取り上げた関数や課題について解説を行い、プログラミング作成のための理解を深めるとともに発展課題に取り組む。</p>

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588022301	科目番号 / Course code	05880223
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15821_002		
授業科目名 / Course title	市民社会と法 / Civil Society and Law		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu gmail.com (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	家族、相続、ジェンダー、消費者、不動産、事故。社会の一員として生きるうえで誰もが関わりうるような身近な六つの分野について、法がどのように規律しており、実際の争いにおいて裁判所がどのように判断したのかなどを学ぶ。また、将来みなさんが市民として関わるかもしれない裁判員制度についても理解を深める。 この授業は5・6校時に連続で行うから、基本的にその連続した二校時分で一つのテーマを扱う。		
授業到達目標/Course goals	基礎的な法の概念が理解できるようになる。 法的な思考力を身につけて社会でのトラブルに対処できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取組み50点と定期試験50点の合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 各回のテーマについて予めネットで情報収集し、自分の考えをまとめておくこと。(2h) 復習 配布資料を再読し、理解を確実にするように努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	法学入門、民法、裁判員		
教科書・教材・参考書/Materials	プリントを配布し、参考文献は別途紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	新聞やニュースを見て、授業で得た知識と関連づけるよう心がけること。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第 1 回	家族と法 1 婚姻、離婚、親子、養子など社会の最小単位ともいえる家族における法を学ぶ。
第 2 回	家族と法 2
第 3 回	相続と法 1 親が死亡した場合に残された遺産を家族でどのように分けるのか、家族財産の処遇につ いて学ぶ。
第 4 回	相続と法 2
第 5 回	ジェンダーと法 1 生物学的性別とは異なる社会的性別をジェンダーという。家族や企業、政治など 様々な社会でのジェンダーバランスについて、法はどのような役割を果たしているかについて学ぶ 。
第 6 回	ジェンダーと法 2
第 7 回	裁判員制度 1 アメリカの陪審制度を扱った映画『十二人の怒れる男』を題材に、市民が刑事裁判 に参加することの意義を考え、日本の裁判員制度についての理解を深める。
第 8 回	裁判員制度 2
第 9 回	消費者と法 1 私たちは誰もが消費者である。圧倒的に多くの情報をもつ企業と情報力に乏しい消費 者との争いをどのように解決するのかについて学ぶ。
第 10 回	消費者と法 2
第 11 回	不動産と法 1 不動産とは土地と建物のことである。一人暮らしをしている学生は家主とマンション の賃貸借契約を結んでいるだろうし、将来的にはローンを組んで家を買うかもしれない。そのよう な不動産取引と法について学ぶ。
第 12 回	不動産と法 2
第 13 回	事故と法 1 他人の持ち物をうっかり壊した場合にしばしば弁償という言葉を目にする。同様に、自 動車の運転免許証を取得する際には交通事故の際の損害賠償について習うだろう。これら事故を解 決する法について学ぶ。
第 14 回	総復習 翌週の定期試験のために全員参加型の総復習をする。
第 15 回	事故と法 2
第 16 回	定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588022501	科目番号 / Course code	05880225
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15831_002		
授業科目名 / Course title	自己表現法 / Self-Expression Methods		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	キャリアセンター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールが電話でアポイントを取ってください。 kyano_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちは日々、自分の思いや考えを伝えながらコミュニケーションをとっています。 円滑にコミュニケーションをとったり、望んだ人間関係を築いたりするためには、これらの自分を 表現する「自己表現スキル」を理解し、自由に操れることが大事です。		
授業到達目標/Course goals	(1) 目的に応じた他者とのコミュニケーションをとるために、自分の表現スキルについて計画を 立てることができる。 (2) 他者を観察し、他者と自己を比較することによって、客観的に自己分析することができる。 (3) グループの中で自分の意見や考えを主張し、チームで共修・協働しながら意見をまとめるこ とができる。 (4) 言語表現・非言語表現のスキルを使って、情報や自分の思いを伝えることができる。 (5) 対人関係の基盤である自己統制のために、自分にあった心理学手法を使うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習課題(5点×7回)+プレゼンテーション課題(10点×2回)+ ワーク・レポート課題(10点×3回)+グループワーク課題(10点)+授業への取り組み(5点) =合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習(2h)...課題として資料やパワーポイント作成し、LACSから提出。 復習(2h)...講義内容を受けて課題としてレポートや動画など作成し、LACSから提出。		
キーワード/Keywords	自己表現、コミュニケーション、スピーチ、プレゼンテーション、キャリア、アカデミックスキル		

教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配布する、または参考文献を提示する。
受講要件（履修条件）/Prerequisites	講義中のワークに主体的に取り組む態度が身についていること。 自分の考えをまとめ、表現しようという意欲があること。 一部、日曜日開講の集中講義があります。日程が難しい場合は事前に教員に相談してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	自己表現・コミュニケーションについて学ぶワークショップ型の講義です。 「もともと他者とコミュニケーションをとることは得意」「人前に出ることが好き」という方ももちろん、 「もしかして自分ってコミュ障？」と苦手意識を持っている方も歓迎です。 自分の表現力・コミュニケーション力を変えることで現実を変える方法を学術的に学び、自分の望む現実を積極的に創っていきましょう！
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香/日本放送協会(NHK)アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年。株式会社オーセンティ代表取締役として政治家・経営者などにスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。講演やメディア出演、インタビューなどを通して「話す」「聞く」こと、商業出版や新聞や雑誌での連載などで「書く」ことなどの自己表現活動を行っている教員が、ワークショップ形式で指導する。アカデミックスキルの中でも、主に表現スキルの習得を目指す。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	6月17日（水） オリエンテーション
第2回	6月17日（水） 自己表現とは？
第3回	6月24日（水） 自己理解・他者理解
第4回	6月24日（水） 表現概論～言語・非言語
第5回	7月1日（水） 伝わるコミュニケーションのコツ1 合同授業のため教室変更あり。詳細はオリエンテーションで説明。
第6回	7月1日（水） 伝わるコミュニケーションのコツ2 【注意】合同授業のため教室変更あり。詳細はオリエンテーションで説明。
第7回	7月8日（水） 言語表現 ～読む・書く・話す・伝える
第8回	7月8日（水） 非言語表現 ～表情、視線、ジェスチャー、音声表現、など
第9回	【注意】集中講義 場所：中部講堂 7月12日（日）3限 プレゼンテーション実習
第10回	【注意】集中講義 場所：中部講堂 7月12日（日）4限 プレゼンテーション実習
第11回	【注意】集中講義 場所：中部講堂 7月12日（日）5限 プレゼンテーション実習
第12回	7月15日（水） 自己表現演習 ～感情をコントロールする1
第13回	7月15日（水） 自己表現演習 ～感情をコントロールする2
第14回	7月22日（水） 自己表現演習 ～相手を動かす伝え方

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588022701	科目番号 / Course code	05880227
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15842_032		
授業科目名 / Course title	Asia and Japan in Modern and Contemporary History / Asia and Japan in Modern and Contemporary History		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	All years		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	cmplrad@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel	2944		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thu 12:00-12:50 (arrangement by e-mail is preferred)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	'This course aims to provide students with introductory information about the history of modern Okinawa. Okinawan past abounds with happenings which defy the traditional understanding of Japanese and East Asian history. The objective is, therefore, to delve into such issues and reveal the historicity of the modern state system in Asia through Okinawan local experience.		
授業到達目標 / Course goals	'1) To gain basic knowledge about Okinawa and its relations with Japan and other countries (DP1). 2) To reflect about contemporary events within their historical and socio-political context (DP1, DP2). 3) To promote one's consciousness of multiculturalism and sensitivity towards cultural differences (DP3).		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Class participation 20% Report and presentation 30% Final report or exam 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	All students will have to do their reading assignments before the next class. The preparation time is about two class hours for one credit hour (= 180-270 min.) every week, plus extra time for reports and finals.		
キーワード / Keywords	Okinawa, Japanese modern history, politics, multiculturalism in Japanese context, Asia		
教科書・教材・参考書 / Materials	There is no textbook, but the main reference material is below: Kerr, George. Okinawa: The History of an Island People. Boston: Tuttle Publishing, 2000.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	The quota is maximum 14 students. This course will be conducted in English language but students will also have to refer to Japanese materials for translation and in their own research and preparation for classes.		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	"Be ambitious! (for the attainment of all that a man can be.)" This is a famous statement, which William J. Clark made to his Japanese students in Hokkaido in 1877.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
43481	1 Orientation 2 Ancient Ryukyus 3 Medieval Ryukyus 4 Pre-modern Japan and Okinawa 5 Formation of modern state in Asia 6 Modernization 7 Interwar Japan and Okinawa 8 Battle of Okinawa 9 Early postwar period 10 The "San Francisco System" 11 Land struggles and "normalization" 12 Movement for reversion 13 Reversion of Okinawa 14 Post-reversion Okinawa 15 Local identity in the age of globalization 16 Final exam or report

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588022701	科目番号 / Course code	05880227
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15842_032		
授業科目名 / Course title	Asia and Japan in Modern and Contemporary History / Asia and Japan in Modern and Contemporary History		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	COMPEL RADOMIR / COMPEL RADOMIR		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	cmplrad nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	SGHSS building 11 floor		
担当教員TEL/Tel	2944		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Thu 12:00-12:50 (arrangement by e-mail is preferred)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	'This course aims to provide students with introductory information about the history of modern Okinawa. Okinawan past abounds with happenings which defy the traditional understanding of Japanese and East Asian history. The objective is, therefore, to delve into such issues and reveal the historicity of the modern state system in Asia through Okinawan local experience.		
授業到達目標/Course goals	'1) To gain basic knowledge about Okinawa and its relations with Japan and other countries (DP1). 2) To reflect about contemporary events within their historical and socio-political context (DP1, DP2). 3) To promote one's consciousness of multiculturalism and sensitivity towards cultural differences (DP3).		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Class participation 20% Report and presentation 30% Final report or exam 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	All students will have to do their reading assignments before the next class. The preparation time is about two class hours for one credit hour (= 180-270 min.) every week, plus extra time for reports and finals.		
キーワード / Keywords	Okinawa, Japanese modern history, politics, multiculturalism in Japanese context, Asia		
教科書・教材・参考書 / Materials	There is no textbook, but the main reference material is below: Kerr, George. Okinawa: The History of an Island People. Boston: Tuttle Publishing, 2000.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	The quota is maximum 14 students. This course will be conducted in English language but students will also have to refer to Japanese materials for translation and in their own research and preparation for classes.		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	"Be ambitious! (for the attainment of all that a man can be.)" This is a famous statement, which William J. Clark made to his Japanese students in Hokkaido in 1877.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	1 Orientation 2 Ancient Ryukyus 3 Medieval Ryukyus 4 Pre-modern Japan and Okinawa 5 Formation of modern state in Asia 6 Modernization 7 Interwar Japan and Okinawa 8 Battle of Okinawa 9 Early postwar period 10 The "San Francisco System" 11 Land struggles and "normalization" 12 Movement for reversion 13 Reversion of Okinawa 14 Post-reversion Okinawa 15 Local identity in the age of globalization 16 Final exam or report

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588022801	科目番号 / Course code	05880228
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15852_032		
授業科目名 / Course title	Globalization and Health in Nagasaki / Japan / Globalization and Health in Nagasaki/Japan		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	平野 裕子 / Yuko Ohara-HIRANO		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生 Everybody who wish to take this class is welcome, unless he/she has a high English proficiency to understand the classes given in English.		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hirano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	Department of Health Sciences, Faculty of Medicine		
担当教員TEL/Tel	095-819-7940		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Appointment should be made.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Nagasaki is a city that confronts the challenges to accept people including children, mothers, workers, aged and challenged of those who are in different life-circle, social settings, and health status. Such diversity of the people in Nagasaki city, in a sense, is a key to create a sustainable community, which is particularly important in the global settings. In this course, which final goal is to obtain a basic knowledge to create a healthy community in Nagasaki, a conceptual framework of eco-health, which is tolerant to physically, mentally, and socially diverse community, will be provided. Such framework will be carefully studied multi-disciplinary, and will be approached by both global and local perspectives.		
授業到達目標/Course goals	To comprehend the various settings of globalization, in accordance with the diploma policy of Nagasaki University, this class provides students opportunities to achieve the followings, by the end of this class. 1.To explain the concept of health, family, and community in the global settings 2.To explain about diversity of the people of Nagasaki City and its implication to health of individuals 3.To write a report on social determinant of health of residents in Nagasaki.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	attendance rate and report writing		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	Students are required to prepare for the class through searching information through websites, prior to the class .(2h) Students are required to take part in a discussion via LACS system after the class. (2h)		
キーワード/Keywords	global health, eco health, human life-circle, human life-setting		
教科書・教材・参考書/Materials	To be instructed.		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	Students are required to have a high English proficiency to understand the classes given in English.
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	Students are welcome to join the discussion during the classes.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
1 (Sep 30, 5th period)	1) Orientation: Health and Global Issue (Hirano) (1) Infectious diseases in the age of globalization
2 (Sep 30, 6th period)	2) Health and Global Issue (Hirano) (2) Infectious diseases in the age of globalization
3 (Oct 7, 5th period)	3) Health and Global Issue (Hirano) (1) Climate change and human health
4 (Oct 14, 6th period)	4) Health and Global Issue (Hirano) (2) Climate change and human health
5 (Oct 21, 5th period)	5) Health and Global Issue (Hirano) (1) Poverty and inequity in a globalizing world
6 (Oct 21, 6th period)	6) Health and Global Issue (Hirano) (2) Poverty and inequity in a globalizing world
7 (Oct 28, 5th period)	7) Health and Global Issue (Hirano) (1) The consequence of economic globalization on workers' health
8 (Oct 28, 6th period)	8) Health and Global Issue (Hirano) (2) The consequence of economic globalization on workers' health
9 (Nov 4, 5th period)	9) Globalization, Health and Life Settings (Moji) (1) child health
10 (Nov 4, 6th period)	10) Globalization, Health and Life Settings (Moji) (2) child health
11 (Nov 11, 5th period)	11) Globalization, Health and Life Settings (Moji) (1) community health
12 (Nov 11, 6th period)	12) Globalization, Health and Life Settings (Moji) (2) community health
13 (Nov 18, 5th period)	13) Globalization, Health and Life Settings (Moji) (1) Ageing and care
14 (Nov 18, 6th period)	14) Globalization, Health and Life Settings (Moji) (2) Ageing and care

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588022901	科目番号 / Course code	05880229
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15862_032		
授業科目名 / Course title	Sport Communication and Coaching in Touch Rugby / Sport Communication and Coaching in Touch Rugby		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生 anyone can take in but number of students will be limited due to safety		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	s-aki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	Solid Mechanics Lab. / Engineering bld. 4F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2492		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thursday, Friday after 17:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	Increase of English communication skill by playing touch rugby.		
授業到達目標 / Course goals	Though playing touch rugby, an assertiveness could be cultivated.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Physical test (play) and paper test (basic knowledge of touch rugby)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	Touch rugby is one of the variant of rugby football. In this class, Australian type touch rugby for 6 players in one team is examined.		
キーワード / Keywords	Touch rugby, pass and run, communication, coaching		
教科書・教材・参考書 / Materials	will be shown in the class		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	Class is examined at the rugby field (in Bunko campus)		
学生へのメッセージ / Message for students	Not only the rugby player, but also those who has no experience for playing touch are also welcomed. Touch can be played even for mixed team of boys and girls.		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	guidance
2	basic skill 1 (pass and run)
3	basic skill 2 (hands up and calling)
4	basic skill 3 (selection of running course)
5	understanding the basic rule
6	evaluation of basic skill by practical game
7	positioning
8	off side and line defense
9	team meeting
10	practical game 1 (coaching)
11	practical game 2 (communication)
12	team meeting for victory
13	final league match
14	team meeting and evaluation of the team
15	paper test and exhibition match with TA

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/01 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588022901	科目番号 / Course code	05880229
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15862_032		
授業科目名 / Course title	Sport Communication and Coaching in Touch Rugby / Sport Communication and Coaching in Touch Rugby		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	才本 明秀 / Saimoto Akihide		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生 ただし受講希望者数が適正数を超える場合、危険排除のためやむ無く受講制限をすることがあります。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-aki_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	工学部1号館4F 固体力学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2492		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜、金曜の17:40以降		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	タッチラグビーを通して英語によるコミュニケーション能力を向上させる。迅速に、かつ、広範に、効率的に英語で意思疎通することが試合の中で求められる。また、チームとして勝利するための作戦を考え、皆で議論して実践するまでの一連の行動を英語で行うことで共同性と協調性を養う。さらに、ランニングやパス、ステップなどのタッチラグビーのための基本スキルを身につけるとともに、安全性にも配慮できるようになる。		
授業到達目標/Course goals	団体スポーツ競技においては、自ら考え、学び、主張することが勝利のために必須である。本講義では英語のみのコミュニケーションでタッチラグビーを行うことで、英語による自己主張ができるようになること、また、チームの勝利のためにどのようなプレーを選択すれば良いかを瞬時に判断する能力を身につけることを目標にしている。この目標は長崎大学が掲げるディプロマポリシーのうち、「自ら学び、考え、主張し、行動することができる」に対応している。また、作戦についてチーム内で討議し、それをチームとして実践することにより共同性や協調力を体得することができる。ラグビープレイヤーだけでなく、チームの特徴を分析して勝利に導くための作戦をたてるブレインの存在が重要であり、身体的なハンディキャップがある学生でもチームのブレインとして講義に参加し、英語で議論することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	タッチラグビーの理解度、勝利のための作戦に関するペーパーテストにより40%、実技により50%の配点で成績評価する。また、チームへの貢献度をTAおよび参加者から評価してもらい、それを10%の配点で最終成績に加味する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	タッチラグビーにはいくつかのルールがある。本講義ではニュージーランドやオーストラリアで行われている6人制のタッチラグビーのルールに基づいて試合を行うのでインターネットなどでルール確認をしておくこと。		
キーワード / Keywords	Touch Rugby, Pass and Run, Communication, Coaching		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜紹介する		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	ラグビーはチーム競技である。講義を休むとチームに迷惑がかかる。休まなければならない事情が生じたときは、必ず事前に通知すること。かなり長い時間短距離走を繰り返すので、普段から運動をして体を鍛えておくこと。裏面にポイントがついたサッカーシューズ等を使うことが望ましい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	授業は文教町のグラウンドで行います。各自着替えて集合してください。なお、雨天の場合は教養教室A棟の42教室にて英語によるチームミーティングや試合の鑑賞（英語）を行います。
学生へのメッセージ/Message for students	2019年に日本で開催されたワールドカップではラグビーに注目が集まりました。2020年にはオリンピックで7人制のラグビーが競技種目となりました。本講義を通して少しでもラグビーを理解し、ラグビーを通じて英語コミュニケーションスキルを向上させましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス、講義のルールの説明、チーム編成
2	基本スキル1（パスとラン）
3	基本スキル2（コーリングとランニングコースの選び方）
4	基本スキル3（ラインを前進させるためのパスとステップ）
5	タッチラグビーの基本ルールの理解
6	練習試合を通じた基本スキルの確認
7	リンクの役割とウイングの役割の理解、ポジショニング
8	オフサイドしないラインディフェンスの方法
9	いかにして勝利するか、チームミーティングとサインプレーの確認
10	実践によるタッチラグビースキルの向上とコーチング（1）
11	実践によるタッチラグビースキルの向上とコーチング（2）
12	反省点の集約と勝つための戦略会議
13	最終リーグ戦
14	リーグ戦の反省会とさらなる勝利を目指すための作戦会議
15	TA（大学院生チーム）との試合と講義の総括

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023001	科目番号 / Course code	05880230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15872_032		
授業科目名 / Course title	Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment / Contemporary Issues of Marine Ecosystems and Environment		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	NISHIHARA GREGORY NAOKI / Nishihara Gregory Naoki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生 Students interested in issues in environmental pollution and environmental protection		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	greg_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	Institute for East China Sea Research		
担当教員TEL / Tel	095-850-4588		
担当教員オフィスアワー / Office hours	One hour after class		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	We will examine issues regarding pollution in the marine environment. We will also review problems regarding environmental conservation. There will be a number of readings and reports will be used to deepen understanding in these issues.		
授業到達目標 / Course goals	The objective of this course is to become proficient in expressing and criticizing information regarding marine environmental issues and protection.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	10 Video reports (100 points each, total of 1000 points) Passing grade requires more than 600 points.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	Handouts will be provided.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	This class is not easy, and you will require high proficiency in English.		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	Issues regarding marine environmental problems and conservation
2	Issues regarding marine environmental problems and conservation
3	Issues regarding marine environmental problems and conservation
4	Issues regarding marine environmental problems and conservation
5	Issues regarding marine environmental problems and conservation
6	Issues regarding marine environmental problems and conservation
7	Issues regarding marine environmental problems and conservation
8	Final report presentation

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023101	科目番号 / Course code	05880231
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15882_032		
授業科目名 / Course title	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>This course will examine Nagasaki in terms of the latest theories in the global age, such as East-West Studies, World Literature, and World Film. With these contemporary theories, we will look at the world in and through Nagasaki and simultaneously analyze Nagasaki from multicultural and multidimensional viewpoints in the world.</p> <p>Nagasaki is the oldest cultural crossroads of the East and West in Japan. During the Toyotomi and Tokugawa periods, various cultures and epistemes of the East, especially China and Korea, and those of the West, such as the Netherlands, Portugal, Spain, Russia, the U.S.A., and the U.K., came to Nagasaki, fused there, and started to spread to other areas in Japan. On the other hand, although few take notice of it, various things that encapsulate the essence of Japaneseness went out to the world from Nagasaki. (For instance, it increasingly accepted that Gulliver's Travels originates from Japanese stories and pictures, which were exported from Nagasaki.) What impact did all this interaction have on the world and on Nagasaki? What did people see in Nagasaki (or in Japan through Nagasaki) and see in the world through Nagasaki? Contemporary novelists, including Eric Faye (France) and David Mitchell (the U.K.), often use Nagasaki as a setting for their very popular fictions, instead of New York, Paris, or Tokyo. In the global age, why did the authors choose Nagasaki for their themes and what do they see in Nagasaki? We can ask the same questions to authors of other novels, dramas, films, photos, and arts written, made, and painted in various ages and areas all over the world. On the other hand, what do readers and viewers see in the representations of Nagasaki? The answer depends on the socio-cultural background of readers and viewers. A text changes when it goes beyond the border. On another front, empathizing with the representations comes from how a problem, a tragedy, or happiness common to humanity is expressed.</p> <p>In this class, students with a diversity of cultures, traditions, and expertise will attend in order to promote understanding and peace in the global world, so let's examine Nagasaki and its various representations in the world as well as representations of the world in Nagasaki. Let's examine various representations from your own perspective and then from the latest theories, to discuss what you can empathize with and understand and what you cannot. Through the process of comparison and discussion, let's understand each other and analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints.</p>		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. Acquirement of basic knowledge of Nagasaki. 2. Ability of promote understanding and peace in the global world by examining Nagasaki and its various representations in the world as well as representations of the world in Nagasaki. 3. Ability to analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等 /Method of evaluation	1. Presentations (40% of the final grade) 2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade). See "Message for students."
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	For a class: Read texts and prepare for presentation (2h) After a class: Read references (2h)
キーワード/Keywords	Nagasaki, Representation, World Literature, Dialect, Cross-cultural Understanding
教科書・教材・参考書/Materials	a collections of printouts
受講要件(履修条件) /Prerequisites	
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ /Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) /Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Translator
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	Some of the classes in this course are on translation studies. Words in dialect have their special connotations. Translation of dialect in English or standard Japanese changes meaning of the text. I will explain how a text written in Nagasaki dialect is prevailing as another text in the world.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Introduction to the Course & Ice-breaking (1) What is Nagasaki? From the Viewpoint of the World-System Theory: the World-System, Marx, Empire's Road and Modification of Cultures
2nd	(2) From the World to Nagasaki: "Wa-Ka-Ran" Culture, or the World Culture and Its Representation in Nagasaki: Comparison (Religion <Church & Religious Figures>, Food, Language, Fashion, Festival, Episteme)
3rd	Field Work
4th	Field Work
5th	Presentation and Discussion
6th	Presentation and Discussion
7th	From Nagasaki to the World: Nagasaki and Its Cultural Representation in the World Comparison of Pictures and Art
8th	Linguistics of Nagasaki (Dialects) and Adaptaion in Art (The Gulliver's Travels (Irish Novel): Nagasaki in The Gulliver's Travels.)
9th	Presentation and Discussion

10th	Presentation and Discussion Christianity in Nagasaki and its Representation in Film with Adaptation: Theory
11th	Field Work
12th	Field Work
13th	Endo Shusaku ' s Silence (Translation Studies and Film Studies)
14th	Mapping of Texts:Theory, Mapping of Kazuo Ishiguro ' s A Pale View of Hills and Eric Faye's Nagasaki
15th	Presentation and Discussion Conclusion: Again, What Is Nagasaki?

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023101	科目番号 / Course code	05880231
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15882_032		
授業科目名 / Course title	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>This course will examine Nagasaki in terms of the latest theories in the global age, such as East-West Studies, World Literature, and World Film. With these contemporary theories, we will look at the world in and through Nagasaki and simultaneously analyze Nagasaki from multicultural and multidimensional viewpoints in the world.</p> <p>Nagasaki is the oldest cultural crossroads of the East and West in Japan. During the Toyotomi and Tokugawa periods, various cultures and epistemes of the East, especially China and Korea, and those of the West, such as the Netherlands, Portugal, Spain, Russia, the U.S.A., and the U.K., came to Nagasaki, fused there, and started to spread to other areas in Japan. On the other hand, although few take notice of it, various things that encapsulate the essence of Japaneseness went out to the world from Nagasaki. (For instance, it increasingly accepted that Gulliver's Travels originates from Japanese stories and pictures, which were exported from Nagasaki.) What impact did all this interaction have on the world and on Nagasaki? What did people see in Nagasaki (or in Japan through Nagasaki) and see in the world through Nagasaki? Contemporary novelists, including Eric Faye (France) and David Mitchell (the U.K.), often use Nagasaki as a setting for their very popular fictions, instead of New York, Paris, or Tokyo. In the global age, why did the authors choose Nagasaki for their themes and what do they see in Nagasaki? We can ask the same questions to authors of other novels, dramas, films, photos, and arts written, made, and painted in various ages and areas all over the world. On the other hand, what do readers and viewers see in the representations of Nagasaki? The answer depends on the socio-cultural background of readers and viewers. A text changes when it goes beyond the border. On another front, empathizing with the representations comes from how a problem, a tragedy, or happiness common to humanity is expressed.</p> <p>In this class, students with a diversity of cultures, traditions, and expertise will attend in order to promote understanding and peace in the global world, so let's examine Nagasaki and its various representations in the world as well as representations of the world in Nagasaki. Let's examine various representations from your own perspective and then from the latest theories, to discuss what you can empathize with and understand and what you cannot. Through the process of comparison and discussion, let's understand each other and analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints.</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. Acquisition of basic knowledge of Nagasaki. 2. Ability of promote understanding and peace in the global world by examining Nagasaki and its various representations in the world as well as representations of the world in Nagasaki. 3. Ability to analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		

学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1. Presentations (40% of the final grade) 2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade). See "Message for students."
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	For a class: Read texts and prepare for presentation (2h) After a class: Read references (2h)
キーワード/Keywords	Nagasaki, Representation, World Literature, Dialect, Cross-cultural Understanding
教科書・教材・参考書/Materials	a collections of printouts
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Translator
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	Some of the classes in this course are on translation studies. Words in dialect have their special connotations. Translation of dialect in English or standard Japanese changes meaning of the text. I will explain how a text written in Nagasaki dialect is prevailing as another text in the world.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction to the Course & Ice-breaking (1) What is Nagasaki? From the Viewpoint of the World-System Theory: the World-System, Marx, Empire's Road and Modification of Cultures
第2回	(2) From the World to Nagasaki: "Wa-Ka-Ran" Culture, or the World Culture and Its Representation in Nagasaki: Comparison (Religion <Church & Religious Figures>, Food, Language, Fashion, Festival, Episteme)
第3回	Field Work
第4回	Field Work
第5回	Presentation and Discussion
第6回	Presentation and Discussion
第7回	From Nagasaki to the World: Nagasaki and Its Cultural Representation in the World Comparison of Pictures and Art
第8回	Linguistics of Nagasaki (Dialects) and Adaptaion in Art (The Gulliver's Travels (Irish Novel): Nagasaki in The Gulliver's Travels.)
第9回	Presentation and Discussion
第10回	Presentation and Discussion Christianity in Nagasaki and its Representation in Film with Adaptation: Theory
第11回	Field Work

第12回	Field Work
第13回	Endo Shusaku 's Silence (Translation Studies and Film Studies)
第14回	Mapping of Texts:Theory, Mapping of Kazuo Ishiguro 's A Pale View of Hills and Eric Faye 's Nagasaki
第15回	Presentation and Discussion Conclusion: Again, What Is Nagasaki?

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023201	科目番号 / Course code	05880232
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15892_032		
授業科目名 / Course title	Toward a Nuclear Weapon Free-World / Toward a Nuclear Weapon Free-World		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	2nd floor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This course is designed to introduce participants to the challenges in facing a world affected by the existence of approximately 15,000 nuclear weapons, and the proliferation of their related materials and technology.		
授業到達目標/Course goals	Overall, this course will not only facilitate students to gain a greater understanding of the various issues related to nuclear weapons, but also help students construct their own ideas and opinions for a better future, and build confidence to express and share these ideas with their peers.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	1) Class attendance, preparation, and participation in discussion (60%) 2) Final report (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	Preparation includes reading related news articles and presenting t in class.		
キーワード / Keywords	nuclear weapons, nuclear disarmament, nuclear non-proliferation, nuclear energy, peace and disarmament education		
教科書・教材・参考書 / Materials	Not required (printed materials may be distributed in class)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	N/A		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	The working language in the classroom is English and at least a moderate English proficiency is required.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有 する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでい た実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を、英語で教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	Introduction to the Course
	Basic Introduction of Nuclear Weapons I: Beginning of Nuclear Age
	Basic Introduction of Nuclear Weapons II: Current status of nuclear world
	Nuclear testing I
	Nuclear testing II
	The Cold War Era and Nuclear Arms Race
	Beyond the Cold War: Risk of Proliferation
	Nuclear Weapons from Regional Perspectives
	Peaceful Use of Nuclear Energy and Nuclear Non-proliferation
	Japanese Nuclear Policy
	Nuclear Weapon-Free Zones
	States that Chose a Non-Nuclear Policy
	Role of Civil Society I
	Role of Civil Society II
	Conclusion

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023201	科目番号 / Course code	05880232
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15892_032		
授業科目名 / Course title	Toward a Nuclear Weapon Free-World / Toward a Nuclear Weapon Free-World		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 桂子 / Nakamura Keiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakamurak nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	2nd floor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2865		
担当教員オフィスアワー/Office hours	by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	This course is designed to introduce participants to the challenges in facing a world affected by the existence of approximately 15,000 nuclear weapons, and the proliferation of their related materials and technology.		
授業到達目標/Course goals	Overall, this course will not only facilitate students to gain a greater understanding of the various issues related to nuclear weapons, but also help students construct their own ideas and opinions for a better future, and build confidence to express and share these ideas with their peers.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1) Class attendance, preparation, and participation in discussion (60%) 2) Final report (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	Preparation includes reading related news articles and presenting t in class.		
キーワード/Keywords	nuclear weapons, nuclear disarmament, nuclear non-proliferation, nuclear energy, peace and disarmament education		
教科書・教材・参考書/Materials	Not required (printed materials may be distributed in class)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	N/A		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	The working language in the classroom is English and at least a moderate English proficiency is required.		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	中村 桂子/核兵器廃絶研究分野、特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長の実務経験を有 する/特定非営利活動法人ピースデポ(横浜)の事務局長として、核軍縮・不拡散問題に取り組んでい た実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識を、英語で教授する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction to the Course
第2回	Basic Introduction of Nuclear Weapons I: Beginning of Nuclear Age
第3回	Basic Introduction of Nuclear Weapons II: Current status of nuclear world
第4回	Nuclear testing I
第5回	Nuclear testing II
第6回	The Cold War Era and Nuclear Arms Race
第7回	Beyond the Cold War: Risk of Proliferation
第8回	Nuclear Weapons from Regional Perspectives
第9回	Peaceful Use of Nuclear Energy and Nuclear Non-proliferation
第10回	Japanese Nuclear Policy
第11回	Nuclear Weapon-Free Zones
第12回	States that Chose a Non-Nuclear Policy
第13回	Role of Civil Society I
第14回	Role of Civil Society II
第15回	Conclusion

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023701	科目番号 / Course code	05880237
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15902_032		
授業科目名 / Course title	Development Cooperation and Global Health / Development Cooperation and Global Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生 All grades from all of schools and faculties		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taro-kikuchi nagasaki-u.ac.jp (When you e-mail me, please replace with .)		
担当教員研究室/Office	Room No.507, 5th Floor, Global Health General Research Building, SAKAMOTO Campus		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895		
担当教員オフィスアワー/Office hours	09:30-17:45(Advanced notice is required at taro-kikuchi nagasaki-u.ac.jp)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Various knowledge and expertise with economic, social, and environmental perspectives are required for those who wish to engage in global health cooperation. These knowledge are not limited to health and medical fields but includes broader spectrum of social sciences such as history of development assistance, mechanism of public policy, population issue, etc. They also help students in understanding the international affairs, in particular, those occurring in the developing countries. In this module, history on international development assistance and development cooperation by the Government of Japan as Official Development Assistance (ODA), and key fundamental principles around development cooperation especially in health sector will be offered for students to take a first step in thinking about international cooperation with emphasis on health development in the global society.		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ Students become able to shape their own consideration on future direction of development assistance especially in the health sector which are implemented by such public actors as the government, incorporated administrative agencies and UN agencies through understanding actual condition of the assistance in a multifaceted way. ・ Students become able to distinguish the concept from the contents in the topics, subjects, and key words in the development assistance and global health. ・ Students become able to describe roles and activities of stakeholders and actors engaged in development assistance and international health cooperation. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	Active participation in the class (20 points)+Reports as qualified by the lecturer (30 points)+Result of final examination (50 points)=100 points. Points of 60 and over out of a score of 100 are regarded eligible for the credit.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	Submission of reports containing the student's own way of thinking about lecture contents explained in the class. Shaping the student's consideration through prior notice of specific topic(s) to be discussed in the following class.		
キーワード / Keywords	Development Assistance, International Cooperation, Global Health		

教科書・教材・参考書/Materials	There is no specific textbook used in this subject. Lectures are given using visual aids such as slides and videos. Students are sometimes advised to read official documents of governments and development partners as well as research papers if necessary in the class.
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	Students who are on enrollment
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Agenda of this course might not be generally familiar to students. But I hope the enrolled students come to feel familiar with international cooperation and development assistance in the globalized world. Besides, they will learn how closely linked the global health is with society, environment and economy throughout the period. A good command of English will be needed to keep up with this course.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	Professor in charge; Mr.Taro KIKUCHI He used to be engaged in Japan's Official Development Assistance (ODA), especially, in coordination of the development policy by initiating the surveys and running the management of Japan's health and medical ODA operations which were implemented in Asia and Africa through the close partnerships with ministries such as the Ministry of Foreign Affairs, the Ministry of Health, Labor and Welfare, and the Ministry of Finance, public institutions including the National Center of Global Medicine and National Institute of Infectious Diseases. The professor also cooperated with international organizations such as UN agencies and development financial institutions for putting Japan's global health policy into practice at the field level. Global health requires students to think about people's health with a worldwide perspective. In this module, the students are expected to address economic and social development issues which are necessary for promoting global health at the level of development assistance, and the Sustainable Development Goals(SDGs) which was set as a common goal of the international community.
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st(25 Nov.16:10-17:40)	Introduction of Development Cooperation -What is ODA? -How is the situation around ODA in the world? -Understand what developing countries are.
2nd(25 Nov.17:50-19:20)	Works and Jobs in the Development Cooperation -How do you engage yourselves in international cooperation and development assistance? -International cooperation activities in which you privately participate
3rd(2 Dec.16:10-17:40)	Development Cooperation and Japan's ODA System -How is the relationship between Japan and developing countries? -Why do we provide assistance ? Japan as a recipient country? -Start of Japan's ODA
4th(2 Dec.17:50-19:20)	Development Cooperation and Japan's ODA System 2 -Japan's ODA policy, budget framework -Situation and characteristics of Japan's ODA -Cooperation modalities of Japan's ODA and the examples
5th(9 Dec.16:10-17:40)	History and Current Development Cooperation -Postwar reconstruction and development -Expansion of international aid with growing economy in the world -Limit of economic development and new way about international aid
6th(9 Dec.17:50-19:20)	History and Current Development Cooperation 2 -A new world order after the cold war -Increasing recognition of global issues (environment, HIV/AIDS) -Shift from nation-based economic development to individual-centered social development
7th(16 Dec.16:10-17:40)	Partnership for Development Cooperation -Increase of development finance -Partnership for effective development assistance -Emergence of new donors and aid actors

8th(16 Dec.17:50-19:20)	<p>Introduction of Global Issues</p> <ul style="list-style-type: none"> -International agreement on the Sustainable Development Goals(SDGs) -Global response to population problems (population explosion in developing countries, population decrease and aging in developed countries) -Preparation for group work
9th(6 Jan.16:10-17:40)	<p>Group Work "Global Issue"</p> <ul style="list-style-type: none"> -Discuss and make presentation of population problem(s) in a country
10th(6 Jan.17:50-19:20)	<p>Japan's Experiences on Health Development</p> <ul style="list-style-type: none"> -Healthcare administration in Japan -Maternal and child health improvement in Japan (Maternal and Child Health Handbook) -Response to aging society in Japan (Community-based Long-term Care)
11th(13 Jan.16:10-17:40)	<p>Japan's Global Health Policy</p> <ul style="list-style-type: none"> -Response to infectious diseases (HIV/AIDS, tuberculosis, malaria) -Maternal, newborn, infant health -Sustainable delivery of quality medical services (National Health Insurance)
12th(13 Jan.17:50-19:20)	<p>Global Health Harmonization</p> <ul style="list-style-type: none"> -Concerted international health and medical cooperation in developing countries
13th(27 Jan.16:10-17:40)	<p>Various topics in Global Health</p> <ul style="list-style-type: none"> -Lifestyle-related diseases such as cancer and cardiovascular diseases (Non-Communicable Diseases) -Emerging infectious diseases such as Ebola Viral Disease and Novel Corona-viral Disease
14th(27 Jan.17:50-19:20)	<p>Collaboration with Stakeholders in Health Sector</p> <ul style="list-style-type: none"> -Cooperation with private companies and new actors (foundations, etc.) for drug and vaccine development
15th(3 Feb.16:10-17:40)	<p>Future Direction in Development Cooperation and Global Health</p> <ul style="list-style-type: none"> -Reflect on past classes and discuss how we go with international development and improvement of people's health.
16th(Feb.17:50-18:40)	<p>Final Examination(50 minutes)</p>

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023701	科目番号 / Course code	05880237
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15902_032		
授業科目名 / Course title	Development Cooperation and Global Health / Development Cooperation and Global Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	青木 恒憲 / aoki tsunenori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aoki.tsunenori@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	グローバルヘルス総合研究棟5階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7895		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9時から17時 (事前のアポイントメントが望ましい)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>地球規模の保健課題の解決に従事するには経済、社会及び環境における多様な知識が要求される。これらの知識は保健や医療に限らず、開発援助の歴史、公共政策の仕組み、人口問題等の社会科学も含めた幅広いものであり、その知識は学生が世界、特に開発途上国で発生する国際的な問題を理解する一助となる。</p> <p>この科目では、日本の政府開発援助(ODA)による開発協力概要、一般的な開発援助の歴史に加え、保健医療分野の開発協力における重要な原則を学生に示すとともに、学生が国際援助や保健医療協力を考察する第一歩となる知識を教授する。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>学生自ら多様な公的アクター(政府、開発機構、国連機関)による開発援助、国際保健医療協力において、世界の現状を多角的に理解した上で、将来の方向性を具体的に検討できるようになる。</p> <p>学生自ら開発援助、国際保健における重要事項、議題、キーワードの内容から、その概要を区別して理解できるようになる。</p> <p>学生自ら開発援助、国際保健に関与するアクターや関係機関の活動や役割を説明できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義後に課される課題レポート、授業への貢献、最終考査結果		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習、講義への参加や対話、更に講義後に課す課題へ取り組むことで学習する。政府、開発パートナー機関の政策文書やデータも情報源として活用される。		
キーワード/Keywords	開発援助、国際協力、グローバルヘルス		
教科書・教材・参考書/Materials	授業中に適宜指示する		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	一般的には学生にとってあまり馴染みのない分野かもしれませんが、授業を通じてグローバル化された世界では何故国際協力や開発援助が必要か、人々の健康のための国際保健は社会、環境や経済とどのような関係にあるか、等を身近に感じることができます。授業内容を理解するには十分な英語スキルが必要になります。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	日本の政府開発援助(ODA)において、途上国(特にアフリカ)の開発政策策定に係る調整、アジア及びアフリカで実施する保健医療ODAの計画調査及び管理に従事するとともに、政府関係省庁(例；外務省、厚生労働省、財務省)、関係公的機関(例；国立国際医療研究センター、国立感染症研究所)等との連携を通じた日本の国際保健外交に関しても、国連機関や開発金融機関等と協調しながら、その実践に協力してきた / 地球規模の視点で人々の健康を考えるグローバルヘルスの推進に必要な経済・社会開発上の課題解決に取り組み、国際社会の共通目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成を、保健医療分野の開発援助の面から学習する
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回(11/25 16:10-17:40)	開発協力の紹介 【ポイント】 政府開発援助(ODA)とは？ 世界のODAの状況は？ 開発途上国を知る
第2回(11/25 17:50-19:20)	開発協力の分野で働くには 【ポイント】 国際協力/開発援助の仕事 仕事以外で参加する国際協力
第3回(12/2 16:10-17:40)	開発協力と日本のODA(1) 【ポイント】 日本と開発途上国との関係は？ 何故援助するのか-援助受取国としての日本 日本のODAの開始
第4回(12/2 17:50-19:20)	開発協力と日本のODA(2) 【ポイント】 日本のODAの政策、予算枠組み 日本のODAの状況と特徴 日本のODAの協力方式とその事例
第5回(12/9 16:10-17:40)	開発協力の歴史と現在(1) 【ポイント】 世界の戦後復興と開発 経済成長に伴う国際援助拡大 経済開発の限界と新たな国際援助
第6回(12/9 17:50-19:20)	開発協力の歴史と現在(2) 【ポイント】 冷戦崩壊後の新たな国際秩序 地球規模課題の認識(環境、エイズ) 国の経済開発から個人の社会開発へ
第7回(12/16 16:10-17:40)	開発協力におけるパートナーシップ 【ポイント】 開発資金の増大 効果的な援助のためのパートナーシップ 新たな援助国、援助実施機関の出現
第8回(12/16 17:50-19:20)	地球規模課題の紹介 【ポイント】 持続可能な開発目標(SDGs)の国際的合意 人口問題(途上国での人口爆発、先進国での高齢化/人口減少)への対応 グループワークの準備
第9回(1/6 16:10-17:40)	グループワーク「地球規模課題」 【ポイント】 ある国での人口問題を考察し、発表する
第10回(1/6 17:50-19:20)	日本の保健医療開発の経験 【ポイント】 日本の医療行政(保健、介護) 日本の母子健康改善(母子健康手帳) 日本の高齢化対策(地域包括ケア)

第11回(1/13 16:10-17:40)	日本の国際保健政策 【ポイント】 感染症(HIV/エイズ、結核、マラリア)への対応 妊産婦、新生児、乳幼児の健康 質の高い医療サービスの持続的な提供(国民健康保険)
第12回(1/13 17:50-19:20)	国際保健における調和化 【ポイント】 開発途上国における協調した保健医療協力
第13回(1/27 16:10-17:40)	国際保健における様々なトピック 【ポイント】 がん、心臓病等の生活習慣病(非感染性疾患) エボラ出血病、新型コロナウイルス症等の新しい感染症
第14回(1/27 17:50-19:20)	保健医療分野における関係機関との連携 【ポイント】 薬剤やワクチン開発のための民間企業や新しいパートナー(財団等)との連携
第15回(2/3 16:10-17:40)	国際保健における開発協力の方向性 【ポイント】 授業を振り返り、国際協力と世界の人々の健康改善について考える
第16回(2/3 17:50-18:40)	最終考査(50分)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2021/02/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023801	科目番号 / Course code	05880238
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15911_001		
授業科目名 / Course title	キャリア実践 / Career Practice		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	キャリアセンター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2087		
担当教員オフィスアワー / Office hours	事前にメールか電話でアポイントを取ってください。 kyano nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>実社会に出てインターンシップを行う実習体験を中心に、インターンシップ前の講義、後の報告会を実施する。</p> <p>【インターンシップ受け入れ企業】 長崎県内の商社・製造業・保険・サービス業・放送局・新聞社・ホテルなど 詳しい企業名を知りたい方は担当教員までメールで問い合わせてください</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>(1) 実社会での体験を通して社会人に必要なスキルを理解し、自分が不足している能力について自己分析することができる。</p> <p>(2) 自己の適性やキャリアデザインについて考え、暫定的な将来の目標をたてることができる。</p> <p>(3) チームで共修・協働しながら、実習のための事前調査や事後報告などをまとめることができ、その内容についてわかりやすく発表することができる。</p> <p>(4) 実習先である企業担当者の指導・指示に従い、社員、職員の一員として責任ある行動を心掛けることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>)インターンシップ報告書や日報課題(15点×3回)+企業からの評価(20点)+プレゼンテーション課題(15点)+実習への取り組み(20点) =合計100点のうち60点以上を合格とする。 なお、授業に出席した時数が3分の2に達しない場合は、失格とする。</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>予習(2h)...企業担当者とのやりとりとしてビジネス文書を作成。メールで送付。 報告会のためにレポートやパワーポイント・資料を作成し、LACSから提出。</p> <p>復習(2h)...インターンシップ期間中の日報、報告書やレポートなど作成し提出。(フォーマットは提示します)</p>		
キーワード / Keywords	キャリア、インターンシップ、社会人基礎力		
教科書・教材・参考書 / Materials	なし		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites	土曜日・日曜日、または夏休み期間中にインターンシップ実習を行う集中講義です。 インターンシップに行く日時は企業によって異なります。 詳細は第一回講義で説明します。 事前に確認したいことがある場合は、担当教員までメールで問い合わせてください。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	インターンシップに参加するためには、保険に加入する必要があります。 詳細は講義内で説明します。 <大学で加入できる保険> ・学生教育研究災害障害保険 ・学生教育研究災害障害保険付帯賠償責任保険 上記以外でも、自身の事故及び対人・対物への補償が含まれるものであれば問題ありません。
学生へのメッセージ / Message for students	インターンシップとは、「学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」です。 インターンシップは3年生になってから、就活のときにするものと思いませんか？ この講義では、低学年の学生向けのインターンを行います。 1年次からインターンシップを経験することで、早い時期から「社会で働く」ということをリアルにイメージすることができるようになります。ぜひ挑戦してみてください!
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	矢野 香 / 日本放送協会 (NHK) アナウンスにて報道番組のキャスター歴17年。株式会社オーセンティ代表取締役として政治家・経営者などにスピーチ指導を行う。講演・研修実績多数。 県内企業あるいは自治体等における実習 (インターンシップ) を通じて、実際の社会に出て社会人基礎力を養う。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回 6月6日 (土)	インターンシップとは？ インターンシップとアルバイトの違い 社会に出る前に身に付けるべき力
第2回 6月6日 (土)	インターンシップにおける目標設定 インターンシップ先企業の決定
第3回 6月6日 (土)	インターンシップ先 企業研究
第4回	インターンシップ参加 日時は企業によって異なります
第5回	インターンシップ参加
第6回	インターンシップ参加
第7回	インターンシップ参加
第8回	インターンシップ参加
第9回	インターンシップ参加
第10回	インターンシップ参加
第11回	インターンシップ参加
第12回	インターンシップ参加
第13回 10月3日 (土)	報告会
第14回 10月3日 (土)	報告会
第15回 10月3日 (土)	総括・まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588023901	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	thaya_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL / Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー / Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史,銀行,企業金融,民法),楽しむことの意義を学術的に検討し(定石,交渉術と遊び,アクティブラーニング),さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費,サービスと経営成果,経営リテラシー)。		
授業到達目標 / Course goals	「自ら学び,考え,主張し,行動することができる。」「主体性をもって他者と協働できる。」これらのために,紳士・淑女としてゲームを楽しみ,また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行係の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	ゲームへの関与 (30%), 報告・小演劇ならびに質疑応答 (30%), レポート課題 (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	レポート課題ならびに報告・小演劇にむけて教科書の入手と精読,およびLACSにアップされる資料のチェック。		
キーワード / Keywords	MONOPOLY, 不動産経営, 資産運用, 複式簿記, 抵当権, 処世術・交渉術, 土地・税制, 民法		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 林徹 (2019) 『モノポリーで学ぶビジネスの基礎 (第2版)』中央経済社。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	交渉や取引に関心があればベストです。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程(所得税法上の勤労学生:1983-1988)に在 籍中,老舗割箸小売商,有限会社遠州屋商店(横浜市中区長者町)において,横浜・川崎・藤沢・鎌倉 などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引(御用聞き・配達・ 納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり), 視覚障がいをおもちの内職さんとの取引(割箸袋への割箸の挿入),その他の経験/商慣行を含む小 売商における取引実務の全般,トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス,デモンストレーション,グループ分け
第2回	ゲーム実践1
第3回	ゲーム実践2
第4回	ゲーム実践3,重要なルールの再確認
第5回	報告または小演劇(1)と質疑応答
第6回	報告または小演劇(2)と質疑応答
第7回	報告または小演劇(3)と質疑応答
第8回	報告または小演劇(4)と質疑応答
第9回	ゲーム実践4
第10回	ゲーム実践5
第11回	ゲーム実践6
第12回	ゲーム実践7
第13回	報告または小演劇(5)と質疑応答
第14回	報告または小演劇(6)と質疑応答
第15回	課題レポートの報告会
第16回	反省と今後の展望

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/03/31		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	202005880239Z1	科目番号 / Course code	05880239
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15921_002		
授業科目名 / Course title	モノポリーで学ぶ教養としてのビジネス[上限外] / Business foundations through playing MONOPOLY?		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 徹 / Hayashi Toru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 徹 / Hayashi Toru		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	thaya nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	経済学部本館627研究室		
担当教員TEL / Tel	095-820-6368		
担当教員オフィスアワー / Office hours	開講時に説明します。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	MONOPOLYのゲーム体験をふまえて、ゲームの舞台を知り(土地・税制史, 銀行, 企業金融, 民法), 楽しむことの意義を学術的に検討し(定石, 交渉術と遊び, アクティブラーニング), さらに実務へのゲートウェイを探究する(不動産所得の経費, サービスと経営成果, 経営リテラシー)。		
授業到達目標 / Course goals	「自ら学び, 考え, 主張し, 行動することができる。」 「主体性をもって他者と協働できる。」 これらのために, 紳士・淑女としてゲームを楽しみ, また振る舞えること。ゲームと現実社会との基本的な異同を説明できること。ゲームと人文・社会科学入門とのインターフェイスを説明できること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ボードゲームMONOPOLYのプレイヤーと銀行系の両方を体験させる。 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	ゲームへの関与(30%), 報告・小演劇ならびに質疑応答(30%), レポート課題(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	レポート課題ならびに報告・小演劇にむけて教科書の入手と精読, およびLACSにアップされる資料のチェック。		
キーワード / Keywords	MONOPOLY, 不動産経営, 資産運用, 複式簿記, 抵当権, 处世術・交渉術, 土地・税制, 民法		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書: 林徹(2019)『モノポリーで学ぶビジネスの基礎(第2版)』中央経済社。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	なし		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	交渉や取引に関心があればベストです。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	林徹/横浜国立大学経営学部第二部経営学科夜間5年課程(所得税法上の勤労学生:1983-1988)に在 籍中,老舗割箸小売商,有限会社遠州屋商店(横浜市中区長者町)において,横浜・川崎・藤沢・鎌倉 などに位置する割烹・懐石・中華・その他飲食店・弁当加工工場などの取引(御用聞き・配達・ 納品・請求書手交・各種クレーム対応・約束手形と小切手の取扱を含む集金・営業と挨拶まわり), 視覚障がいをおもちの内職さんとの取引(割箸袋への割箸の挿入),その他の経験/商慣行を含む小 売商における取引実務の全般,トラブルに対する実践的な対処の紹介。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス,デモンストレーション,グループ分け
第2回	ゲーム実践1
第3回	ゲーム実践2
第4回	ゲーム実践3,重要なルールの再確認
第5回	報告または小演劇(1)と質疑応答
第6回	報告または小演劇(2)と質疑応答
第7回	報告または小演劇(3)と質疑応答
第8回	報告または小演劇(4)と質疑応答
第9回	ゲーム実践4
第10回	ゲーム実践5
第11回	ゲーム実践6
第12回	ゲーム実践7
第13回	報告または小演劇(5)と質疑応答
第14回	報告または小演劇(6)と質疑応答
第15回	課題レポートの報告会
第16回	反省と今後の展望

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588024001	科目番号 / Course code	05880240
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15932_032		
授業科目名 / Course title	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>Authors in the world write Nagasaki as a setting for their novels. Why are they interested in Nagasaki, instead of a more international city of Japan, such as Tokyo, Kyoto, or Osaka? The authors living in the global era must think much of Nagasaki as a suitable place for works that are translatable across the gaps of social and cultural differences in societies in the global era.</p> <p>This course will examine Nagasaki by reading contemporary novels by Eric Faye, David Mitchell, and Kazuo Ishiguro, mapping the texts, identifying the models of restaurants, companies, houses, and places in the fictions by fieldwork.</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. Acquisition of basic knowledge of Nagasaki. 2. Ability of promote understanding and peace in the global world by examining Nagasaki and its various representations in the world. 3. Ability to analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1. Presentations (40% of the final grade) 2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade). <p>See "Message for students."</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>For a class: Read texts and prepare for presentation (2h) After a class: Read references (2h)</p>		
キーワード / Keywords	Dejima, Nagasaki, Representation, World Literature, Cross-cultural Understanding		
教科書・教材・参考書 / Materials	Text: Print-out.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office. Student Accessibility Office contact information (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 章能/翻訳業。かつて株式会社アイデア出版の雑誌、およびウェブページ翻訳、ならびにのロン・ドン・Direct Image Marketing & Communications Ltd.の文芸雑誌翻訳をしていた。現在は両社の仕事はしていないが、翻訳書を定期的に出版している。/翻訳は語源や語用、文体、社会的・文化的・時代的背景、書物に書かれた内容に関する専門知識等、多角的な知識をもって行うことである。これらをもって英語の真の意味と感覚を理解することができる。こうした翻訳の方法と経験のうち基本的技術や方法を、英語の深く正確な意味を理解できる方法として適宜学生に説明・伝授して教育している。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1st	Introduction to the Course & Ice-breaking Reading Faye's Nagasaki (the part of the protagonist's home): Where is his home?
2nd	Reading Faye's Nagasaki with Google Maps (the part of the protagonist's home): Where is his home?
3rd	Fieldwork
4th	Fieldwork and identifying the model of the home.
5th	Reading Ishiguro's The Pale Views of the Hills (the part of the station, Noodle restaurant, and the routes)
6th	Reading Ishiguro's The Pale Views of the Hills (the part of the station, Noodle restaurant, and the routes): Where is the noodle restaurant and Ishiguro's house?
7th	Field Work
8th	Field Work and identifying the model of the station, noodle restaurant and Ishiguro's house.
9th	Reading David Mitchell's The Thousand Autumns of Jacob de Zoet (the part of the Dejima and bridges)
10th	Reading David Mitchell's The Thousand Autumns of Jacob de Zoet (the part of the Dejima and bridges): Where is Zoet's room?
11th	Fieldwork
12th	Fieldwork and identifying Zoet's room and the bridges.
13th	Reading Ku Hyoso's Nagasaki Papa (the part of the restaurant, Father's company, and the area of Nagasaki station)
14th	Reading Ku Hyoso's Nagasaki Papa (the part of the restaurant, Father's company, and the area of Nagasaki station)
15th	Fieldwork and conclusion of Nagasaki in the world of today.

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588024001	科目番号 / Course code	05880240
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15932_032		
授業科目名 / Course title	Nagasaki Studies / Nagasaki Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 章能 / Akiyoshi Suzuki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	suzu-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	Building of Department of Education 6, 622		
担当教員TEL/Tel	095-819-2376		
担当教員オフィスアワー/Office hours	On Mondays, 12:20-12:40 If you need to meet with me outside my office hours, you can make an appointment.		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>Authors in the world write Nagasaki as a setting for their novels. Why are they interested in Nagasaki, instead of a more international city of Japan, such as Tokyo, Kyoto, or Osaka? The authors living in the global era must think much of Nagasaki as a suitable place for works that are translatable across the gaps of social and cultural differences in societies in the global era.</p> <p>This course will examine Nagasaki by reading contemporary novels by Eric Faye, David Mitchell, and Kazuo Ishiguro, mapping the texts, identifying the models of restaurants, companies, houses, and places in the fictions by fieldwork.</p>		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. Acquisition of basic knowledge of Nagasaki. 2. Ability of promote understanding and peace in the global world by examining Nagasaki and its various representations in the world. 3. Ability to analyze Nagasaki from the multicultural and multidimensional viewpoints. 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<ol style="list-style-type: none"> 1. Presentations (40% of the final grade) 2. Research Paper. This will be a research paper of 4-5 pages in length on a topic of your choice (60% of the final grade). <p>See "Message for students."</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<p>For a class: Read texts and prepare for presentation (2h)</p> <p>After a class: Read references (2h)</p>		
キーワード / Keywords	Dejima, Nagasaki, Representation, World Literature, Cross-cultural Understanding		
教科書・教材・参考書 / Materials	Text: Print-out.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	Class attendance, preparation, and participation. This aspect of the course cannot be emphasized enough. Because this is a discussion-oriented course, each class is a true joint-learning venture, the success of which depends on every member not only having completed the assigned reading for the day, but also having digested and reflected on it, and being prepared for discussion. To facilitate this, each student will prepare a typed list of questions or topics for discussion. Finally, it should go without saying that you cannot be considered a participant in class if you do not actually attend class. The choice to attend class is of course yours, but missing more than three classes without an excuse will seriously affect your final grade. Any excused absence requires written authorization from Health Services, a doctor, advisor, counselor, or administrator. Class participation will count for 20% of your final grade.
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	鈴木 章能/翻訳業。かつて株式会社アイデア出版の雑誌、およびウェブページ翻訳、ならびにのロンドン・Direct Image Marketing & Communications Ltd.の文芸雑誌翻訳をしていた。現在は両社の仕事はしていないが、翻訳書を定期的に出版している。/翻訳は語源や語用、文体、社会的・文化的・時代的背景、書物に書かれた内容に関する専門知識等、多角的な知識をもって行うことである。これらをもって英語の真の意味と感覚を理解することができる。こうした翻訳の方法と経験のうち基本的技術や方法を、英語の深く正確な意味を理解できる方法として適宜学生に説明・伝授して教育している。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Introduction to the Course & Ice-breaking Reading Faye's Nagasaki (the part of the protagonist's home): Where is his home?
第2回	Reading Faye's Nagasaki with Google Maps (the part of the protagonist's home): Where is his home?
第3回	Fieldwork
第4回	Fieldwork and identifying the model of the home.
第5回	Reading Ishiguro's The Pale Views of the Hills (the part of the station, Noodle restaurant, and the routes)
第6回	Reading Ishiguro's The Pale Views of the Hills (the part of the station, Noodle restaurant, and the routes): Where is the noodle restaurant and Ishiguro's house?
第7回	Field Work
第8回	Field Work and identifying the model of the station, noodle restaurant and Ishiguro's house.
第9回	Reading David Mitchell's The Thousand Autumns of Jacob de Zoet (the part of the Dejima and bridges)
第10回	Reading David Mitchell's The Thousand Autumns of Jacob de Zoet (the part of the Dejima and bridges): Where is Zoet's room?
第11回	Fieldwork
第12回	Fieldwork and identifying Zoet's room and the bridges.
第13回	Reading Ku Hyoso's Nagasaki Papa (the part of the restaurant, Father's company, and the area of Nagasaki station)
第14回	Reading Ku Hyoso's Nagasaki Papa (the part of the restaurant, Father's company, and the area of Nagasaki station)
第15回	Fieldwork and conclusion of Nagasaki in the world of today.

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588024801	科目番号 / Course code	05880248
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15961_001		
授業科目名 / Course title	キャリア交流 / Group Work with Company Members		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu, 矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu, 矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	Career Center in Bunkyo Campus		
担当教員TEL/Tel	095-819-2107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Monday afternoon. E-mail is also available		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	Group discussion with people from managing section from various companies. Trough this discussion, your skill to comunicate with various people will be improved. Furthermore, you will understand how the buisness is carried.		
授業到達目標/Course goals	Your communication skill will be improved. You will understand how the enterprises are carried based on the global and local activities .		
知識・技能以外に、この授業を通して身につ けて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	You are requested to submit report after the every class. The reports are evaluated totally as 80 score. Your activity during group discusion is also evaluated as totally 20 scores.		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	After every class students are requested to submit report. The contents of the report is how you undestand the activity of the enterprises.		
キーワード/Keywords	Group discussion, Company, company phylosophy		
教科書・教材・参考書/Materials	not required		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	not required		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	You can enjoy the communicatio with many and various people.		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	We invite two people from administrative position of companies at every class. The companies are MHPS Co.Ltd, Nittoku Engineering Co.Ltd, Japanet Group, Nanon Nagasaki Co.Ltd. and so on.
---	---

授業計画詳細 / Course Schedule

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
1st	Orientation 1st part Group work with Diet member, Matsudaira 2nd part Group work with Director of Kyodo tsusi \ hin sha	B
2nd	1st part Group discussinn with Nittoku president, Kondo. 2nd part Group discussion with Archeology researcher	B
3rd	1st part Group work with Movie director, Miike. 2nd part Group discussion	B
4th	1st part Presentation by the manager of the invited company. 2nd part Group discussion	B
5th	1st part Presentation by the manager of the invited company. 2nd part Group discussion	B
6th	1st part Presentation by the manager of the invited company. 2nd part Group discussion	B
7th	1st part Presentation by the manager of the invited company. 2nd part Group discussion	B
8th	1st part Presentation by the manager of the invited company. 2nd part Group discussion	B

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588024801	科目番号 / Course code	05880248
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15961_001		
授業科目名 / Course title	キャリア交流 / Group Work with Company Members		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu, 矢野 香 / Yano Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	石松 隆和 / Ishimatsu Takakazu, 矢野 香 / Yano Kaori		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	文教地区学生会館1階 キャリアセンター内		
担当教員TEL/Tel	095-819-2107		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週月曜日の午後。Eメールでも受付		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会で活躍する方々に、活動の理念、目標さらにグローバルな取り組み、ダイバーシティの取り組み等を聞き、社会で生き生きといきる秘訣について学ぶと同時に、オンラインのグループディスカッションを通じて、多様な人々とのコミュニケーション能力を育成する。		
授業到達目標/Course goals	社会を動かす人々の考えを理解し、コミュニケーションできる。 社会におけるグローバルとローカルな視点を理解できる。 社会において、コミュニケーションが重要であることを理解できる。 グループディスカッションを通じて、多様な人々とのコミュニケーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	毎週の講義およびグループワークの感想をレポートして提出する。 このレポートで、授業の理解内容、論理的・批判的に物事を理解する能力を評価する。 レポート点は、10点×8回とし、毎週のグループディスカッションを通じての参加意欲、プレゼンテーション能力を、総合点20点とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習は、講義に参加する企業について、HPで調べておく。 事後学習としては、毎週の講義で発表があった内容について調べ、レポートしてまとめ提出する。		
キーワード/Keywords	企業理念、管理職、グループディスカッション		
教科書・教材・参考書/Materials	なし		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	なし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	さまざまな分野の先輩方と気楽にグループで話せる機会を用意しました。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	毎週2名の方々を招き講演とオンライングループディスカッションを行う。 招聘予定者：大手企業の管理者 (NITTOKU、チューリッヒ保険、共同通信社、NSK)、JR東海の研究者、特撮映画監督、ハリウッド映画関係者、歯科医、自立生活を実現した難病患者、国会議員、県会議員、考古学研究者、レストランオーナー、	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 / 9月30日	1部：若手衆議院議員・松平浩一氏に聞く、議員の暮らし。 2部：共同通信社で、国内外の業務を担当した常務理事・岡部氏に聞く	B
第2回 / 10月7日	1部：世界の Coil メーカー・トップ企業の社長・近藤氏に聞く 2部：柏原市の学芸員・石田氏に考古学の楽しさを聞く	B
第3回 / 10月14日	1部：特撮映画監督・三池敏夫氏 (新ゴジラ、進撃の巨人、ウルトラマンサガ製作に従事) に聞く 2部：JR東海でリニア新幹線の開発に従事する若手先輩・藤田氏に聞く	B
第4回・10月21日	1部：高齢者・障がい者の口腔リハビリの先駆者・角町氏に聞く 2部：難病患者・山口氏が語る難病患者の自立支援活動について	B
第5回 / 10月28日	1部：教師志望からチンドン屋になった河内屋さんに聞く 2部：保険業界の楽しさを語るチューリッヒ保険・福永氏	B
第6回 / 11月4日	1部：ハリウッドで映画関連の仕事に携わる宮野氏に聞く 2部：精密産業をリードするNSKの若手役員・武村氏に聞く	B
第7回 / 11月11日	1部：長崎県の女性県議会議員。ごうまなみ氏に聞く、議員の暮らし。 2部：カフェを長崎出島を起点に展開する野田氏に聞く、飲食店の経営戦略	B
第8回 / 11月18日	1部：討論会：本講義担当・石松と境と一緒に語ろう。繋がる楽しみ。	B

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Others 0
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/09/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588025001	科目番号 / Course code	05880250
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 15981_004		
授業科目名 / Course title	特別な支援を必要とする子どもの理解		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 西村 大介		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉田 ゆり / Yuri Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉田 ゆり / Yuri Yoshida, 田中 悟郎 / Tanaka Gorou, 今村 明 / Imamura Akira, 岩永 竜一郎 / Iwanaga Riyoutirou, 鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi, 徳永 瑛子 / Tokunaga Akiko, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa, 高橋 甲介 / Takahashi Kosuke, 西村 大介		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	(代表) 吉田ゆり yuyoshida nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	(代表) 吉田ゆり 教育学部220研究室		
担当教員TEL / Tel	(代表) 吉田ゆり 095-819-2394		
担当教員オフィスアワー / Office hours	吉田 : 月曜日12:00から12:50		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	特別支援教育の対象である視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱のみならず、発達障害や軽度知的障害、虐待・マルチトリエントや貧困、外国籍等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の発達及び特性、教育的ニーズを把握し、教育課程・支援方法について理解するとともに、関係機関や保護者との連携のあり方を含めて概括する。		
授業到達目標 / Course goals	特別な支援を必要とする幼児、児童及び生徒の障害の特性及び心身の発達を理解し、その教育課程や支援の方法を理解することができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	各回の振り返り用紙(50点満点) (50%)と最終レポート50点 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として、自らの障害観、子ども観について考える時間を持ってほしい。できればボランティアやアルバイトで子どもとふれあい関わった経験をメモでも良いので言語化してまとめておくこと (2h) 事後学習としては、子どもの育ちを自分の問題としてとらえるとともに、市民として、あるいは支援者として何をすべきかを考える時間を持ってほしい。また、テキストや配付資料は再読し、理解を確実にするように努めること (2h)		
キーワード / Keywords	発達障害 インクルーシブ教育 特別支援教育 教育的ニーズ		
教科書・教材・参考書 / Materials	適宜指示する (現在教科書を作成中である。出版でき次第連絡する)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	特になし。 なお、教養教育自由科目の教職科目に位置付けられているが、本科目については全学部 (教育学部を含む) が受講可能である。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	教員免許取得希望者のみならず、ひろく履修してほしい。 本科目は、長崎大学子どもの心の医療・教育センターが、特別な支援を必要とする子どもの育ちとその支援について、医学・教育の両面から、『医教連携』をコンセプトに全学部が共修できるよう構成しています。大学病院、医学部保健学科、教育学部の教員がそれぞれの専門性をもって授業を行う、全国でも珍しい授業になっています。積極的な受講を望みます。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	担当者全員が、医学（医師としての実務）、リハビリテーション（作業療法士としての実務）、教育（教員としての実務）、心理臨床（公認心理師・臨床心理士等）として、特別な支援を必要とする子どもとその保護者の支援にかかわる実務経験を持っています。 ここでは代表教員のみを記載します。 吉田ゆり?@病院（児童精神科、小児神経科外来）の臨床心理士として医師の指示の元、発達・知能検査他検査や観察など診察補助及び個別面接（経過観察）を担当。また、療育手帳発行のための資料作成を行った。?A児童発達支援事業所における専門スタッフ（臨床心理士）として保護者の相談と療育への助言指導を実施?B公立中学校特別支援学級に指導補助員として勤務?C公立小学校・中学校特別支援学級に言語指導員（ST）として勤務?Dスクールカウンセラーとして小学校及び中学校に勤務?E附属学校園の特別支援教育コーディネーター連絡会における顧問として指導助言を行う?F発達障害の可能性のある幼児・児童・生徒の相談及び個別支援、及び学校の特別支援教育体制構築への指導助言を担当（長崎大学附属学校園）
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション/発達障害支援の動向(吉田ゆり/子どもの心の医療・教育センター/教育学部)
第2回	インクルーシブ教育システムと特別支援教育の展開と制度 インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みの理解 (石川衣紀/教育学部/子どもの心の医療・教育センター)
第3回	障害のある幼児・児童・生徒の学習と生活(1) 病弱・知的障害の子どもを中心に 知的障害・病弱等の子どもの学習及び生活上の困難(高橋甲介/教育学部)
第4回	障害のある幼児・児童・生徒の学習と生活(2) 肢体不自由・視覚・聴覚障害を中心に 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由の子どもの学習及び生活上の困難(鈴木保巳/教育学部)
第5回	特別支援教育の教育課程と個別の支援計画の作成・活用 特別支援教育の教育課程、個別の支援計画(教育学部/実務家教員)
第6回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性(1) 自閉スペクトラム症を中心に 発達障害や軽度知的障害の子ども発達の発達と心理的特性、学習の過程(自閉スペクトラム症を中心に) (岩永竜一郎/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第7回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性(3) LD等を中心に 発達障害や軽度知的障害の子ども発達の発達と心理的特性、学習の過程(LD・発達性協調運動障害等を中心に) (岩永竜一郎/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第8回	発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性(2) ADHDを中心に 発達障害や軽度知的障害の子ども発達の発達と心理的特性、学習の過程(ADHDを中心に) (今村明/大学病院/子どもの心の医療・教育センター)
第9回	障害のある子どもの地域支援(1) 保護者支援 学校における保護者支援、ペアレントトレーニングなど(徳永瑛子/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第10回	障害のある子どもの地域支援(2) 学校と関係機関との連携 特別支援教育コーディネーター、関係機関や家庭との連携による支援体制の構築(徳永瑛子/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第11回	発達障害のある幼児・児童・生徒の教育的支援(1) 通常学級・通級による指導における発達障害や軽度知的障害の子ども支援の方法 (吉田ゆり/教育学部/子どもの心の医療・教育センター)
第12回	発達障害のある児童・生徒の教育的支援(2) 特別支援学級と「自立活動」の教育課程上の位置づけの理解 (高橋甲介/教育学部/子どもの心の医療・教育センター)
第13回	教育的ニーズのある多様な子どもの理解と支援(2) 精神疾患の子どもと保護者の支援、リハビリテーション教 (田中悟郎/保健学科/子どもの心の医療・教育センター)
第14回	教育的ニーズのある多様な子どもの理解と支援(1) 母国語や貧困、愛着障害の問題による子どもの生活上の困難や組織的対応の必要性 (吉田ゆり/教育学部/子どもの心の医療・教育センター)
第15回	まとめ(学部横断グループ構成でのディスカッションとプレゼンテーション)(吉田)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/20		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588025201	科目番号 / Course code	05880252
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16001_002		
授業科目名 / Course title	海外English Camp (B) / Overseas English Camp (B)		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, グローバル科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部実験棟1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールによる要相談		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本授業は、海外 (本年度は台湾あるいは韓国) における本学の協定校を訪問し、英語で協定校の学生に本学のプレゼンと、指定されたトピックでディスカッションを行う。そのための準備も含まれている。また協定校の学生と本学の教員を交えて、英語での交流活動を行う。さらに、現地の視察も行い、英語による異文化間コミュニケーションの実際を体験する。		
授業到達目標 / Course goals	英語で長崎 (の歴史・地理・文化) 及び長崎大学を紹介することができるようになる。また指定されたトピックについて入念な下調べを行い、英語でプレゼンテーションができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	複数回のレポートの提出、報告会でのプレゼンテーション		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として教材の予習及び課題に2時間、事後学習として課題の見直しに2時間		
キーワード / Keywords	understanding of Nagasaki and its culture, discussion, possible relationships		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業時に指示する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	長崎大学より奨学金相当額が本授業を受講する学生には支給される		
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	廣江 顕 / 高等学校英語教員としての実務経験 / 高等学校英語教員としての実務経験を踏まえ、高等学校の現場での英語科目の授業構成、指導法等々の変遷や『学習指導要領』の解説を行なっている。 / 佐賀県立致遠館高等学校、佐賀県立唐津東高等学校
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (1)協定校への派遣目的の説明 (2)班づくり (3)現地日程の説明
第2回	現地活動の準備 (1)長崎大学のプレゼンテーション担当班の準備 (2)協定校学生とのディスカッション担当班の準備
第3回	プレゼンテーションの予行演習(1) (1)プレゼンの準備状況の報告 (2)教員によるコメント
第4回	プレゼンテーションの予行演習(2) (1)プレゼン予行演習 (2)教員によるコメント
第5回	協定校での交流活動
第6回	協定校での交流活動
第7回	協定校での交流活動
第8回	協定校での交流活動
第9回	協定校での交流活動
第10回	現地視察
第11回	現地視察
第12回	現地視察
第13回	現地視察
第14回	報告会(1)
第15回	報告会(2)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588025401	科目番号 / Course code	05880254
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16011_002		
授業科目名 / Course title	現代社会を生きる / Study of Contemporary Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hirotaka		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wknhrtk nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	持続可能な社会を作る上において、「主体的に社会の形成に参画しようとする態度」が必要であり、 そのためには、公職選挙法等一部の改正、民法の改正など現代社会でどのような変化があるか、 今どんな問題が自分らの前にあるかを考え生活していく必要がある。 この講義では、主権者教育、租税教育、消費者教育の観点での知識を習得し、主権者意識、 消費者意識を高め、他者と連携・協働しながら、主体的に社会の形成に関わる思考・態度を身につける。		
授業到達目標/Course goals	主権者教育、租税教育、消費者教育の観点での基礎的知識を身に付ける 主体的に社会の形成に関わる思考・態度を身につける。 地域社会への貢献を考えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	課題提出による累積した点数およびグループワークを通じたプレゼン内容により評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	LACSにおいて、事前・事後の授業資料を提示するため授業外に活用すること (各2h)		
キーワード/Keywords	主権者教育、租税教育、消費者教育		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	長崎県選挙管理委員会、北部九州税理士会、長崎県消費者センターの各専門分野の外部講師による ものである。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 - 2 回	主権者教育
3 - 6 回	租税教育 (我が国の租税の構造, 租税法の基本原則など)
7 -14回	消費者教育 (賃貸トラブル、訪問販売、情報サイトのトラブル、キャッチセール等の事例とその対 処について) など、消費者市民社会の構築にむけ考える。
15回	まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588026201	科目番号 / Course code	05880262
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16611_002		
授業科目名 / Course title	哲学 / Philosophy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森 元斎		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森 元斎		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森 元斎		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	motonaomori nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合研究棟12階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール連絡すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	私たちが生を考えるさいに、一人一人の個人の水準で考察するのはもちろんのことであり、それに加えて、その個人の生を支えたり、個人の生に何らかの影響を与える社会の水準での議論は欠かせません。この授業では、哲学の議論を可能にする概念のあり方について講義を展開するとともに、私たち一人一人の生と社会の課題を自分自身で考えることができるようにすることを目的としています。		
授業到達目標/Course goals	1. 哲学における概念のあり方を理解する。 2. 哲学の学説を基にして、社会のあり方を主体的に考えることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	中間レポート(40%)と期末の筆記テストによる(60%)。中間レポートも期末テストも、授業で紹介した議論の理解度、知識の定着度、哲学的議論への習熟度を判定基準とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【予習】次回講義のキーワードを提示するので、キーワードに関する内容を各自、文献、Web等で調べておくこと。(2h) 【復習】講義資料を復習すると共に、講義時のレポート課題に関して、講義資料で紹介されたHPや文献で理解を深めること。(2h)		
キーワード / Keywords	哲学・文化・主体性・他者・社会問題		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業中に適宜指示します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	哲学・思想史の書籍を進んで読むことが望ましい。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション：授業の進め方
第2回	哲学とは何か
第3回	文化とは何か
第4回	文化とは何か 具体的な事例とともに
第5回	主体性とは何か 学説史
第6回	主体性とは何か 現代哲学の言説
第7回	個体とは何か 現代哲学の言説
第8回	他者とは何か 現代哲学の学説
第9回	社会とは何か 学説史
第10回	社会とは何か 国家とアナキズム
第11回	共同体とは何か 学説史
第12回	共同体とは何か 人類学の事例から
第13回	生命とは何か 学説史と倫理
第14回	自然とは何か 学説史
第15回	自然とは何か 現代哲学の学説
第16回	まとめ：宇宙の方へ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20200588026401	科目番号 / Course code	05880264
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16631_002		
授業科目名 / Course title	経験学習実践論 / Practical Theory of Experiential Learning		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	丹羽 量久 / NIWA Kazuhisa, 永谷 研一 / Nagaya Kenichi, 鈴木 斉 / SUZUKI Hitoshi		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-niwa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	ICT基盤センター 2階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日10:40 ~ 12:00 (事前に電子メールで教員と時間調整を行うこと)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>【授業の概要】</p> <p>皆さんは高い志を持ち、目標を達成したくて大学に入学されたことと思います。日々、学びを継続することは自身との戦いであり、苦勞なさっている方も多いことでしょう。勉強に限らず、「今日はやる」「明日こそやる」と思っているにもかかわらず行動に踏み出せないときがあります。本科目では、たとえば、毎日5分間だけ使って自分ができたことを見つけ、週一回10分間振り返る行動を継続することによって、自ら新しい行動を見出していきます。そしてその行動の中で自分の良さに気づき“ありたい姿”を発見することを目指して学修を進めます。学修するメソッドの各要素は「行動科学」、「認知科学」、「情動コントロール」、「協働学習」の知見に基づいて設計されています。</p> <p>初回授業は、毎日取り組むことを確認します。第2回～第4回の授業は、遠隔地にいる永谷先生と教室の丹羽・鈴木が連携しながら、ビデオ会議システムを使って授業を進めます。その際、皆さんはコラボレーションツールを使って、教員と学生の間および学生同士で意思疎通を図ります。第5回～第8回の授業は、数名で構成されるグループに分かれて、日々学習してきたことについて情報交換して、グループとしてアピールすることをまとめます。さらに、ワールドカフェを行って他グループとの情報共有に取り組み、その結果を自グループの改善に結びつけます。</p> <p>【授業の位置づけ】</p> <p>本科目は教養教育における自由選択科目です。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>以下の5つの技術を座学と演習によって身につけることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感を高める手法として、できたことを見つける技術を活用できるようになる ・自分の感情を見つめる手法として、感情コントロール技術を活用できるようになる ・できたことから次なる行動への気づきを得る、思考法を活用できるようになる ・見出した行動計画を確実に実践する、行動変容技術を活用できるようになる ・自分の軸を見出す技術として、ありたい姿の抽出技術を活用できるようになる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確かめたり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	<p>教材で活用する「できたこと手帳」に対し、十分な量と質で書かれているか、総合的に判断して決定する。なお、最終校時に記述するレポート内容も成績評価に含まれる。</p> <p>原則として全回出席を前提とする。ただし、やむを得ず正当な理由で欠席する場合は担当教員に連絡すること。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>【毎日】一日を振り返って、自分ができたことを教科書に書き出す。(1.5H)</p> <p>【毎週】1週間分のできたことの中から一つ選んでベストとし、[When, Where, Who, What, How]を意識して具体化する。そして、[Why]を意識して、それで十分かを振り返り、工夫を考える。(1.3H)</p> <p>【5週ごと】5週分のベストを振り返って、それらの共通点を見つける。そして、自分が大切にしていることは何か考える。(1.5H)</p>
キーワード/Keywords	行動科学、認知科学、情動コントロール、メタ認知、行動変容
教科書・教材・参考書/Materials	<p>【教科書】永谷研一『できたこと手帳』, クロスメディア・パブリッシング, 2017年 ・ ISBN : 9784295401100</p> <p>【参考書】永谷研一『月イチ10分のできたことを振り返りなさい』, ダイヤモンド社, 2018年 ・ ISBN : 9784478105221</p>
受講要件(履修条件)/Prerequisites	教科書に各自の考えを書き込んでいくため、必ず購入して、初回授業からノートPCとともに持参すること。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>
備考(URL)/Remarks (URL)	「できたことノート&できたこと手帳」の参考サイト： https://dekitakoto.jp
学生へのメッセージ/Message for students	<p>できたことノートの方法の体験を通じて、行動科学、認知科学、情動科学が学べるとても有意義な授業となっています。</p> <p>今後の学生生活はもちろん、社会に出た後も必ず活用する技術ですので、ぜひ積極的に受講して下さい。</p>
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	<p>丹羽 量久/社会基盤構造物の設計・製作に関する線形/非線形構造解析のコンサルテーションおよび技術営業業務、橋梁の自動設計システムのうち変形・応力を計算するソフトウェア群の開発、科学技術やWebに関わるITシステム構築の提案を行う営業業務、既存業務以外の分野における新規事業の開拓・事業化、および関係部署のマネージャーとしての年度計画の立案・数値の管理・統制等の業務。/さまざまな定例業務や企画提案等における活動結果を振り返ることは、その結果の成否にかかわらず、それらの合理的な改善に繋がるとても重要な活動です。授業では、こうした企業での実務経験に基づいた助言を行います。/</p>
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
6月17日(水)5校時	<p>【ガイダンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の概要 ・授業で利用するコラボレーションツールの環境設定と演習 ・この授業に臨むにあたって
6月24日(水)5校時	<p>【自分を肯定的に見る効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠けている部分に目がいくのは人間の習性 ・「できたこと」を見つけよう <p>【「できたこと」を磨こう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありたい姿が見つかる「ベストできたこと」! ・「できたこと」から新たな行動を導く経験学習法とは
7月8日(水)5校時	<p>【感情をコントロールする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情動知能 Emotional Intelligence を学ぶ ・能天気な人と楽観的な人はどこが違うのか
7月8日(水)6校時	<p>【行動変容力を身につける】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できたことメモからできたこと気付き日記へ ・行動を習慣化する7つの技術
7月22日(水)5校時	<p>【クリティカル・シンキング技術を学ぶ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できたことを健全に疑ってみる ・創造的な行動変容を導き出す
7月22日(水)6校時	<p>【ありたい姿発見ワーク(1)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子供の頃夢中になったことって何? ・今の自分を見つめ直す
8月5日(水)5校時	<p>【ありたい姿発見ワーク(2)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベストできたことから見つける自分の価値観 ・本当の自分を見つける。ありたい姿発見!
8月5日(水)6校時	<p>【さらなる行動実践に向かって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を通じて学んだこと(レポート記述) ・明日からの自分へのエールを

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588026501	科目番号 / Course code	05880265
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16641_002		
授業科目名 / Course title	長崎・浦上の歴史と文化 / History and Culture of Nagasaki and Urakami		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	原口 茂樹 / Haraguchi Shigeki		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	papishige60.58devimayu_snow.plala.or.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	オランダ通詞の業績とキリスト教文化を柱に、古代から近代までの長崎の姿を書籍・視聴覚教材に地誌探訪も交えて学ぶことで、身近な長崎・浦上を持つ文化の特色を知ります。		
授業到達目標 / Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本近代化の基礎を形作りながらも世に忘れられたオランダ通詞の業績を学び伝えることができる。 2. 浦上を中心にした本県の4百年にわたるキリスト教文化の変遷を感動をもって学ぶことができる。 3. 長崎・浦上の歴史文化の特色を自身の言葉で述べるができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	課題レポート (5点×6回=30点) + 授業への取組み・発表 (10点) + 定期試験 (60点) = 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	予習: 予め書籍を貸与し、読んでくるべき個所を示すので、それらに目を通したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習: 貸与書籍と配布プリントを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード / Keywords	オランダ通詞 隠れキリシタン		
教科書・教材・参考書 / Materials	教材プリント集「創り上げよう長崎浦上文化学」 書籍『吉雄耕牛』(オランダ通詞)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	神功皇后伝説やアニメにみる巫女の姿、中世・武士の世の長崎、近世日本の翻訳文化を造りつつ業績を消されたオランダ通詞の学習、浦上の近代工業、ポップカルチャーの聖地長崎。平行してこの地が世界的なキリスト教殉教の地であることを文献、映像、歌唱や、近在の史跡を巡ることで学びます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	原口 茂樹 / 長崎県公立学校での41年間の授業経験 / 活水高等学校において6年間の長崎文化学の授業経験 (継続中)
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	1. 記紀, 風土記, 地名にみる神功皇后伝説 神聖巫女と民間の巫女 祭の本質と長崎 くんちと傘鉾, 精霊流し等
第2回	2. 戸町氏・長崎氏、寺社等の開拓の実際をシミュレーションゲームを行うことで考える
第3回	3. 大航海時代とキリスト教の伝来 戦国の開港
第4回	4. 遣欧少年使節と26聖人殉教 島原の乱と鎖国とガリバー旅行記
第5回	5. 信仰の聖地・浦上 生月の歌オラショ 晴天時浦上街道実地踏査
第6回	6. 副読本重点使用 鎖国と出島貿易、中国貿易
第7回	7. 副読本重点使用 近代学問の基点・長崎蘭学吉雄耕牛と本木良永
第8回	8. 副読本重点使用 翻訳と造語の実際 二人の弟子・志筑忠雄と本木正栄
第9回	9. 副読本重点使用 翻訳と造語の実際 次の代の弟子・吉雄権之助、吉雄俊三、吉雄忠次郎
第10回	10. 幕末の動乱 運命のフェートン号 ペリー来航と佐賀藩砲台 晴天時浦上周辺実地踏査
第11回	11. 浦上4番崩れ 鞍馬天狗 = 渡辺昇と盟友長岡治三郎。その子・長岡半太郎
第12回	12. 大陸への玄関、造船、石炭、医学校、ミッションスクール
第13回	13. 第二次大戦と浦上 物理学と原爆
第14回	14. ポップカルチャーの聖地・長崎 晴天時天主堂周辺実地踏査
第15回	15. 長崎・浦上学の世界への発信もしくは歴史文周辺実地踏査
第16回	16. 定期試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588026601	科目番号 / Course code	05880266
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16651_002		
授業科目名 / Course title	地域創生と観光 / Regional Revitalization and Tourism		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡村 克彦 / Okamura Katsuhiko		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k.okamura ana-ri.co.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	050-3756-6223		
担当教員オフィスアワー / Office hours	第3クォーターの水曜の講義日は、講義前の2時間を非常勤講師控室でのオフィスアワーとさせていただきます。それ以外の時間での質問はk.okamura ana-ri.co.jpへ電子メールでお願いします。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	この授業はANA総合研究所の実務家教員による授業です。人口減少と高齢化が進行する地域の社会、経済には多くの課題が存在します。長年地域活性化に取り組んできたANA総合研究所の実務家教員の知見と経験者講話、長崎国際観光コンベンション協会の講話やフィールドワークやグループワークによるアクティブラーニングを中心に、地域の課題及び観光を中心とした地域活性化を学習していきます。		
授業到達目標 / Course goals	地域の社会、経済に関する諸課題や地域活性化が重要なテーマであることを理解すると共に、地域活性化の大切なツールである観光の概要や課題を理解する。また長崎の観光を中心とした地域活性化策について、自らの視点で問題意識を持った案を持つ。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ゲストスピーカーによる講話 F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	平常点30点(出席状況、受講態度、毎回のコメントシート記入状況)、期中に出題する1回の個人レポート評価点30点、最終回のグループワーク発表評価点40点の計100点満点での評価のうち、60点満点を合格とする。但し出席回数が2/3に満たない場合は失格とします。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業内容の予習・復習を行うと共に、期中1回の個人レポートの作成、グループワークの作業を通じて講義への認識を深めて下さい。 予習: 講義前に教材をダウンロードして学習し、不明な点は事前に調べて授業に出ること(1hr) 復習: 講義内容を教材などで再読して理解を深めること(1hr)		
キーワード / Keywords	地域の課題、地域の活性化、ニューツーリズム、着地型観光、長崎の観光の強みと弱み、アクティブラーニング、フィールドワーク、グループワーク		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書はありません。教材は講義前にLACSに掲示します。参考書は講義の中で必要に応じてご連絡します。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	地域問題や地域活性化、観光に関する話題に関心を持つこと、他の学生とグループワークでコミュニケーションを取って共同で学習すること		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	ANA総合研究所およびANAでの実務経験を活かした実務家教員として、地域政策や観光についての横断的な専門講義を行いながら、グループワークやフィールドワークなどのアクティブラーニングで受講学生の学習力を高めていきます。この講座は、長崎大学とANA総合研究所の連携協定による産学連携の講義です。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	岡村 克彦（ANA総合研究所）
授業計画詳細 / Course Schedule	
回（日時）/Time(date and time)	授業内容 / Contents
9月30日 1回目	オリエンテーション（授業の狙いと概要の説明、グループワークの課題の説明など）
9月30日 2回目	社会の変化と地域について（経済発展と産業構造の変化、都市化の流れ、社会構造と人々の意識の変化）
10月7日 3回目	これまでの主な国土計画と論点、地域課題など（これまでの主な国土計画と論点、人口減少、高齢化、社会資本老朽化、地域行政などにおける地域課題について）
10月7日 4回目	理想とすべき地域像と地域政策の方向性（どのような地域を目指すべきか、各課題に対する民間視点での地域政策の方向性、観光振興政策の必要性）
10月14日 5回目	観光の概要（観光の定義と意義、世界と日本における観光の概要や規模、経済効果について）
10月17日 6回目	長崎市内フィールドワーク（長崎さるくコースをガイドの方の案内で体験し、まち歩きコース作りのヒントや着地型観光の実際を体験）＜少雨決行、荒天時は10月18日に延期＞
10月21日 7回目	グループワーク（フィールドワークでの体験なども参考にして、長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える）
10月21日 8回目	観光の概要（観光資源の保護、国立公園、文化財、世界遺産、日本遺産の概要とニューツーリズムについて）
10月28日 9回目	観光の概要（日本の観光の変化と政策の変化、DMOについて）
10月28日 10回目	観光関連産業（旅行業・宿泊業）（旅行業と宿泊業の制度、業界の概要、キャリア、課題など）
11月4日 11回目	地域活性化事例 講話（ANA総合研究所のゲストスピーカーからの講話による地域活性化の事例紹介）
11月4日 12回目	観光関連産業（航空）（航空の概要と課題、航空会社でのキャリアなど）
11月11日 13回目	長崎の観光 講話 グループワーク（長崎の観光について長崎国際観光コンベンション協会のゲストスピーカーからの講話、課題へのグループワーク）
11月11日 14回目	グループワーク（長崎の観光関係の課題に対して対応策をグループで考える）
11月18日 15回目	グループワーク発表会と講義のまとめ（グループワークの発表会を実施、審査を行い優秀案を表彰、講義のまとめ）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/07/29		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588026701	科目番号 / Course code	05880267
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16661_002		
授業科目名 / Course title	今と昔の長崎に遊ぶ / Enjoy Thinking about Old and Modern Nagasaki		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	吉良 史明, 増崎 英明		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	吉良 史明		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	吉良 史明, 増崎 英明		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kira nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部625研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2299		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日5限、木曜日2限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	<p>この授業では、長崎の歴史・文化・経済・言語・哲学等のプロフェッショナル15人が、長崎の隠された魅力を講義し、学生のみなさんとともにその魅力をさらに深く探求していきます。</p> <p>みなさんがご存知の通り、長崎は諸外国との窓口の役割を長らく果たしてきました。ポルトガル・オランダ・中国を始め、外国の文化が流れ込み、日本の文化と融合した都市、それが長崎です。つまり、グローバル化が叫ばれる現代に先駆けて、数百年も前からグローバル化が行われていたのです。</p> <p>長崎の地に住んだ人々がどのように長崎の文化を形作ってきたのか。15回の講義を通して、この疑問に対する答えをともに導き出していきたいと思います。</p>		
授業到達目標 / Course goals	<p>この授業では、今と昔の長崎の魅力を深く探求し、その魅力を学生のみなさん一人一人が国内外に向けて発信していけるようになることを大きな目標として掲げます。以下は、その詳細です。</p> <p>様々な文献・資料に基づき、長崎の魅力を調べることができる。</p> <p>長崎の町がどのようにして作られてきたか、歴史に照らして考察することができる。</p> <p>深く探求した長崎の魅力と歴史的な位置付けを自身の言葉で取りまとめ、様々な人に伝えることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	<p>成績評価は、次の2つの項目から行います。</p> <p>期末レポート 25%</p> <p>全15回の講義から得たヒントをもとに、みなさんが長崎の文化を詳しく調べ、その魅力をレポートに取り纏めるものです。いまだ解き明かされていない長崎文化の魅力にみなさんがどのようにアプローチするか、独創的かつ具体的なレポートであることを重視します。</p> <p>コメントカード 75%</p> <p>各回の授業終わりの10分間を使い、その回の講義から学んだこと、疑問、御自身の考え等をコメントカードに記入します。コメントカードは第15回講義終了後に返却し、みなさんの学びがどれほど深まったか、ご自身で把握するための資料、また、期末レポートを書くための材料として下さい。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習においては、長崎の文化に関して、各回授業のキーワードをもとに図書館2階配架の参考書籍を読み、調べてくること（各回2時間程度の予習）。 また、事後学習にあたっては、授業内容、さらに参考書籍を再度読み直し、自身独自の観点から長崎文化を深く探求すること（各回2時間程度の復習かつ独自学習）。	
キーワード/Keywords	長崎貿易、長崎方言、幕末の志士、西洋式建築、潜伏キリシタン関連遺産、洋学、長崎八景、異文化融合、ちゃんぽん、トーマス・グラバー、グラバー図譜、シーボルト	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は使いません。各回、プリントを配布、もしくはラックスに資料をアップします。また、参考書は、図書館2階に授業資料コーナーを作り配架していますので、皆さんぜひ積極的に読んで下さい。参考書は、各回担当教員の著書、また学術論文等です。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	長崎に興味がある方は、どなたでも大歓迎です！	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)		
備考（URL）/Remarks (URL)		
学生へのメッセージ/Message for students	みなさんがいまいるこの長崎は、国内はもちろん世界からも注目されている街です。長崎の魅力を深く、そして多角的に考えることを通して、その魅力を世界に向けて発信していきましょう。また、グローバル化社会に生きる私たちが明日をより良く生きるための力とヒントが長崎の街には隠されています。その隠されたヒントをとともに見つけていきましょう。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 4月8日	なぜ、いま長崎に遊ぶのか 増崎英明 《被爆クスノキ、二十六聖人》	A B
第2回 4月15日	長崎町歩き 長崎フィールドワーク入門 吉良史明 《鎮懐石、万葉集、神功皇后》	A B
第3回 4月22日	オランダ人が聞いた幕末の日本語 TOET RUDY 《出島オランダ商館、ドンケル・クルティウス商館長、欧州における日本語学史、『日本文法稿本』》	A B
第4回 5月13日	どこに貿易船が停泊したか？ 経済的観点から 宇都宮讓 《長崎貿易》	A B
第5回 5月20日	尾曲がり猫のご先祖様 特権貿易都市長崎を考える 木村直樹 《長崎貿易》	A B
第6回 5月27日	長崎の世界遺産 潜伏キリシタン関連遺産登録の意義と今後の課題 才津祐美子 《世界遺産、文化の資源化》	A B
第7回 6月3日	日本初の建築群 鉄筋コンクリート造アパート、教会、西洋式病院 安武敦子 《西洋式建築》	A B
第8回 6月10日	長崎から世界へ飛び立て！ 幕末長崎グラバー商会と志士たちに学ぶ 田口 由香 《幕末、明治維新、グラバー商会、長州藩（長州ファイブ）、薩摩藩（薩摩スチューデント）》	A B
第9回 6月17日	明治政府で出世するには？ 高官たちの長崎での洋学の修得について 南森茂太 《洋学、明治維新》	A B
第10回 6月24日	長崎八景 江戸時代長崎の名所は今 中島貴奈 《長崎名所》	A B
第11回 7月1日	ちゃんぽんの長崎文化 中国文化が長崎に根づくまで 王維 《中国文化、ちゃんぽん》	A B
第12回 7月8日	トーマス・グラバーと長崎の魚 グラバー図譜に学ぶ 山口敦子《トーマス・グラバー、グラバー図譜》	A B
第13回 7月15日	ポルトガル人が聞いた室町末期の長崎ことば 前田 桂子 《長崎方言》	A B C D
第14回 7月22日	「死者の記憶」と長崎 滝澤克彦	A B
第15回 7月29日	長崎のわからん？文化 グローバル文化の先駆け 吉良史明 《シーボルト、川原慶賀、神風》	A B D

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588026801	科目番号 / Course code	05880268
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16671_002		
授業科目名 / Course title	アントレプレナーシップ入門 / Introduction to Entrepreneurship		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上條 由紀子, 山下 淳司		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上條 由紀子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上條 由紀子, 山下 淳司		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・多文化社会学科・教育学部・経済学部・医学部・歯 学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kami jo@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 上條由紀子) y-junji@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 山下淳司) メール連絡時は, 必ず両教員宛に同報して下さい。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(教育学部棟6階607・616号室)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務室: 平日9時~17時対応可能) 095-800-4122 (担当教員研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールまたは電話でアポイントを取って下さい。面談等は原則として授業実施日の授業前後 の時間帯になります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では, アントレプレナーシップの基礎を学習します。変化が激しく不確実性の高い現代にお いて, 自立心, 向上心を持って課題解決に取り組み, 新しい価値創造にチャレンジできるアントレ プレナーが必要とされています。本授業では, 自分自身のキャリア構築につながる視点を持ちなが ら, アントレプレナーに必要なマインドセット(アントレプレナーシップ)や必要なスキルにつ いて学習します。また, ベンチャー, 大企業, 官公庁など実社会の様々な現場で活躍されている実務 家の方々を招き, 社会課題解決及び新価値創造への取り組みとアントレプレナーシップの重要性に ついて学習します。		
授業到達目標/Course goals	・国際(グローバル), 社会(ソーシャル), 地域(ローカル), 技術(テクノロジー), SDGsな どの多面的な視野・視座・視点を持って様々な課題を捉え, それを解決するため新しい価値創造に チャレンジすることができるマインドセット(アントレプレナーシップ)とはどのようなものかを知 り, それに必要な基礎的なスキルを理解し, 自立心を持って第一歩を踏み出せるようになる 。 ・本授業では, 産・官・学・公など様々なセクターで実務に携わっている社会人, ベンチャー企業 の社長, 企業で新規事業立上げを行っている方などの講義や彼らとの対話を通じて, 「アントレ プレナーシップ」とは何かを知り, 自分自身のキャリアにおいて「アントレプレナーシップ」を身 につける意義と重要性を学ぶことができる。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への出席状況および授業への参加状況(発言, 質問等)30点, 授業毎に提出する課題レポート 70点, 合計100点として教員が総合的に評価する(60点以上を合格とする)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前, 事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習として授業で用いる資料やプリント教材等を予め配布するので目を通して授業に臨むこと (2h)。事後学習として, 授業後に出された課題レポートを作成しLACS等を通じて提出すること (2h)。		

キーワード/Keywords	アントレプレナー、キャリア、アントレプレナーシップ、企業家精神、イノベーション、テクノロジー、事業機会、ベンチャー、スタートアップ、ソーシャルビジネス、SDGs、地域創生、アイデア創出、組織、チーム、ファイナンス、資金調達
教科書・教材・参考書/Materials	授業において資料・プリント教材を配布する。 <参考書> ・アントレプレナーシップ入門ーベンチャーの創造を学ぶ（忽那 憲治、長谷川 博和他著） ・はじめてのアントレプレナーシップ論（中村博樹著） ・入門起業の科学（田所雅之著） ・日経文庫経営学入門シリーズ ベンチャー企業（松田修一著）
受講要件（履修条件）/Prerequisites	受講要件（履修条件）は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アイデア創出・デザイン思考入門」（2Q）を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	不確実性が高く先読みが難しい現代において、自立心、向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジする「アントレプレナーシップ」は、学生諸君皆さんに身に付けてほしいマインドセットであり、どのような問題に面しても、それを乗り越えて未来に進んでいく力につながります。多くの学生諸君の参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	上條由紀子/山下淳司/菊池紳/三上建治/原口唯/林 暁甫/小松崎友子/田所雅之/竹林一（予定） 授業実施方法、ゲスト講師及びスケジュールの変更、講師実務経験内容等、最新情報はWEBサイトを参照すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回：4月9日（水）5・6時限	・オリエンテーション（授業概要及び進め方） ・アントレプレナーシップとは何か ・アントレプレナーシップの意義と重要性 ・イノベーションとアントレプレナーシップ ・アントレプレナーとはどのような人か ・自己のキャリア構築とアントレプレナーシップ
第2回：4月15日（水）5・6時限	・組織（大企業、中小企業、ベンチャー、非営利活動法人、行政等）とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第3回：4月22日（水）5・6時限	・地域とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第4回：5月13日（水）5・6時限	・社会課題を解決するソーシャル・アントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第5回：5月22日（水）5・6時限	・ベンチャー企業とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第6回：5月27日（水）5・6時限	・起業及び新規事業立上げのプロセスとアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第7回：6月3日（水）5・6時限	・組織・チーム構築とアントレプレナーシップ ・ゲストによる講義 / グループディスカッション / 質疑応答
第8回：6月10日（水）5時限	総括・まとめ

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588026901	科目番号 / Course code	05880269
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16681_002		
授業科目名 / Course title	アイデア創出・デザイン思考入門 / Introduction to Idea Creation and Design Thinking		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	上條 由紀子, 山下 淳司		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	上條 由紀子		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	上條 由紀子, 山下 淳司		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学部(情報データ科学部・多文化社会学部・多文化社会学科・教育学部・経済学部・医学部・歯 学部・薬学部・工学部・環境科学部・水産学部)の学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kami.jo@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 上條由紀子) y-junji@nagasaki-u.ac.jp (担当教員: 山下淳司) メール連絡時は, 必ず両教員宛に同報して下さい。		
担当教員研究室/Office	研究開発推進機構FFGアントレプレナーシップセンター(教育学部棟6階607・616号室)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4121 (FFGアントレプレナーシップセンター事務室: 平日9時~17時対応可能) 095-800-4122 (担当教員研究室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールまたは電話でアポイントを取って下さい。面談等は原則として授業実施日の授業前後 の時間帯になります。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、「アイデアを創出する技術(創造技法)」、「ファンクショナル・アプローチ」及び「 デザイン思考」を学習します。これらは、多面的な視野・視座・視点を持ちながら問題を発見し、 それらを解決するアイデアを考案してイノベーション創出につなげるために必要な基礎スキルです 。本授業では、まず「アイデアを創出する技術」として問題発見、アイデア発想、アイデア発展の 基礎的手法を学習します。次に、問題解決へ取り組む際、ファンクション(機能・効用・役割・意 図・目的・狙い等)に置き換えてから解決する革新的技術である「ファンクショナル・アプローチ 」の基礎を学びます。そして最後に、顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法で ある「デザイン思考」の基礎について学習します。なお、本授業では講義と演習(グループワーク) を組み合わせて実施します。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアを創出する技術(創造技法)として、問題発見、アイデア発想、アイデア発展に関する 基礎的手法を習得できる。 ・問題解決へ取り組むに当たり、一度ファンクション(機能・効用・役割・意図・目的・狙い等) に置き換えてから解決を試みる革新的な技術であるファンクショナル・アプローチの基礎を習得で きる。 ・顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法であるデザイン思考のプロセス(共感・ 理解・定義・アイデア創出・プロトタイプ・テスト)について習得できる。 ・アイデア創出手法や問題解決手法を習得することにより、自身や社会の問題・課題に対して新し い選択枝や解決手段を創り出せるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への出席状況及び参加態度(質問・発言等)30点、グループワーク演習取り組み状況40点、課題 レポート30点、合計100点として教員が総合的に評価する(60点以上を合格とする)。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として授業で用いる資料・プリント教材等を予め配布をするので目を通して授業に臨むこと(2h)。事後学習としてグループワーク演習に対する課題や復習課題としてのレポートを作成しLACS等を通じて提出すること(2h)。
キーワード/Keywords	アイデア, 創造力, 創造技法, ファンクショナルアプローチ, デザイン思考, 問題解決, ブレインストーミング, ワークショップ, 顧客視点, コミュニケーション, イノベーション, アントレプレナー
教科書・教材・参考書/Materials	授業において資料・プリント教材を配布する。 <参考書> ・アイデア・スイッチ(石井力重著) ・考具(加藤昌治著) ・「誰のため?」「何のため?」から考えよう GE流・問題解決の技術「ファンクショナル・アプローチ」のすすめ(横田尚哉著) ・デザイン思考が世界を変える:イノベーションを導く新しい考え方(ティム・ブラウン著)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	受講要件(履修条件)は特になし。 なお、FFGアントレプレナーシップセンター教育プログラムのうち、教育教養科目「アントレプレナーシップ入門」を本授業とあわせて受講することにより、さらに効果的な学習を進めることができます。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/ 最新情報はWEBサイトを参照すること。
学生へのメッセージ/Message for students	不確実性が高く先読みが難しい現代において、課題を発見し、その課題の解決策を自ら創り出すスキルはアントレプレナーを目指す方のみならず、学生諸君皆さんに身につけてほしい武器であり、自立心を持って未来を生き抜く力につながります。新しいアイデアを創り出して、自分や社会の課題解決に取り組んでみたい学生諸君の参加を期待しています。
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	上條由紀子/山下淳司/石井力重/大塚智子/横田尚哉/三宅泰世(予定) 授業実施方法, ゲスト講師及びスケジュールの変更, 講師実務経験内容等, 最新情報はWEBサイトを参照すること。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 6月17日(水)5・6時限	アイデアを創出する技術(1)(問題発見、アイデア発想、アイデア発展) 発想の特性/ブレインストーミング・カード/6観点
第2回: 6月24日(水)5・6時限	アイデアを創出する技術(2): 問題発見、アイデア発想、アイデア発展を学ぶ。 演習: アイデアの型(SCAMPER法)/PPGプレスト
第3回: 7月1日(水)5・6時限	アイデアを創出する技術(3): 問題発見、アイデア発想、アイデア発展を学ぶ。 演習: エクスカーション/カラーパス
第4回: 7月8日(水)5・6時限	アイデアを創出する技術(4): 問題発見、アイデア発想、アイデア発展手法を学ぶ。 演習: Zebraプレスト/フェルミ推定/アイデア・ピボット
第5回: 7月15日(水)5・6時限	ファンクショナル・アプローチ: 問題解決手法として、ファンクション(機能、効用、役割、意図、目的、狙い等)に置き換えてから解決する革新的技術について学ぶ。
第6回: 7月22日(水)5・6時限	デザイン思考(1): デザイン思考とは何か、デザイン思考のプロセス(共感・理解、定義、アイデア創出、プロトタイプ、テスト)について学ぶ。
第7回: 7月29日(水)5・6時限	デザイン思考(2) デザイン思考を活用した事例を知る。 演習: デザイン思考グループワーク演習
第8回: 8月5日(水)5時限	アイデア創出・問題解決手法を活用した総合演習/総括

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20200588027001	科目番号 / Course code	05880270
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16691_003		
授業科目名 / Course title	データサイエンス入門 / Introduction to Data Science		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	植木 優夫		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	植木 優夫		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	植木 優夫		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、文系・理系を問わず、大学教育において、社会における様々な問題の解決・新しい課題の発見及びデータから新しい価値を創造できる人材の養成が必要となっています。この授業では、様々な分野のデータを分析するためのデータサイエンスの基礎を学習します。		
授業到達目標/Course goals	"なぜデータサイエンスを学ぶのか、社会でどのように活用されているのか、社会の実データ、実課題を適切に読み解き、判断できることが必要であるため、データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習し、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力を修得します。"		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(100点満点)で60点以上を合格とする。成績評価については、「定期試験の成績」と「定期試験70% + 課題レポート30%」のよい方を評価点とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業終了時に毎回、次回の講義で扱う範囲を紹介し、予習すべき教科書の範囲、その他事前学習の内容を指示するので、その準備をして授業に臨んでください。(2h)		
キーワード/Keywords	データサイエンス		
教科書・教材・参考書/Materials	「データサイエンス入門(データサイエンス大系)」 竹村彰通, 姫野哲人, 高田聖治(編) 学術図書 2019		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	全回出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は個別指導を行うので担当教員に連絡すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	わからない箇所は遠慮なく質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「データサイエンス入門」の講義内容を紹介します。データサイエンスの役割；データの取得と管理
第2回	データ分析の基礎について学習します。ヒストグラム、箱ひげ図、平均値と分散、散布図、相関係数
第3回	データ分析の基礎について学習します。回帰直線、データ分析での注意点
第4回	データサイエンスの手法について学習します。クロス集計、回帰分析、ベイズ推論、アソシエーション分析
第5回	コンピュータを用いた分析について学習します。ExcelやRを使ったデータ分析
第6回	コンピュータを用いた分析について学習します。Pythonを使ったデータ分析
第7回	データサイエンスの応用事例について学習します。マーケティング、金融、品質管理、画像処理、音声処理、医学
第8回	総括および試験を実施します。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/01/27		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0 / 1.0
時間割コード / Time schedule code	20200588027101	科目番号 / Course code	05880271
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16701_003		
授業科目名 / Course title	統計学入門 / Introduction to Statistics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	植木 優夫		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	植木 優夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	植木 優夫		
科目分類 / Course Category	自由選択科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	uekim@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	文教キャンパス 総合教育研究棟12F(教員室3)		
担当教員TEL/Tel	095-800-4193		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	社会の様々な分野でデータ活用が進み、文系・理系を問わず、データを適切に分析し理解できる能力が求められるようになりました。この授業では、様々な分野のデータを読み解く上で、共通して必要となる統計学の基礎的事項を学習します。		
授業到達目標/Course goals	データを適切に利活用するためには統計学の理解が必須であり、様々な分野に共通するデータの集計、分析、解釈を行うための基本的な統計学の知識を修得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験(100点満点)で60点以上を合格とする。成績評価については、「定期試験の成績」と「定期試験70%+課題レポート30%」のよい方を評価点とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	復習を十分行うことを前提とします。(2h)		
キーワード/Keywords	統計学		
教科書・教材・参考書/Materials	・「完全独習 統計学入門」小島寛之 ダイアモンド社 2006 ・毎回資料を配布する		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全回出席を前提とする。やむを得ず欠席する場合は個別指導を行うので担当教員に連絡すること。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	わからない箇所は遠慮なく質問してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「統計学」の講義内容を紹介します。統計学とは、統計データと統計手法
第2回	データの縮約について学習します。度数分布とヒストグラム、平均値
第3回	データのばらつきの指標について学習します。分散、標準偏差
第4回	確率変数と確率分布について学習します。確率変数、確率分布、期待値と分散、2項分布、正規分布
第5回	推定の基礎について学習します。点推定、区間推定
第6回	仮説検定について学習します。仮説検定の概念、平均の検定、様々な検定方式
第7回	回帰モデルについて学習します。線形回帰モデル、発展的内容
第8回	総括および試験を実施します。

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200588027201	科目番号 / Course code	05880272
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 16711_002		
授業科目名 / Course title	リスク社会を読み解くための人文社会科学概論 / "Risk Society" from the Perspective of Humanities and Social Sciences		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, NURGALIYEVA LYAILYA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, NURGALIYEVA LYAILYA		
科目分類 / Course Category	自由選択科目, 人文・社会科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時(要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	現代社会のリスクは、様々な要因が複雑に絡み合い、ますます不確実性、予見不可能性に満ちたものとなっている。社会学者のベックは、まさにそのような現代社会の様相を「リスク社会」という言葉で表現した。そこでは、モダニティの持続的な発展および産業社会の存続可能性自体が、その前提としてリスクを内包している。 様々なレベルにおける社会的カストロフィ(崩壊)を回避しつつ、人類が21世紀を生き残り、100年後も幸福に生きられるような社会を実現するために、人文社会科学はどのような貢献が可能であるか。本授業では、人文社会科学諸分野の「リスク社会」に対する捉え方を俯瞰しながら、このような人類共通の問いについて考察する。		
授業到達目標/Course goals	(1) 人文社会科学諸分野で「リスク社会」がどのように捉えられ、現在どのような問題が提示されているかを理解する。(DP-2,4) (2) (1)の理解にもとづき、身近な社会的事象を「リスク社会」という枠組みを通して自分なりに解釈し、表現できるようになる。(DP-1,2,4)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業への積極的参加(授業ごとのアンケート提出など) 50%、学期末レポート 50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	【事前学習】授業の内容に関連する社会事象について論文やニュースなどから情報を収集して授業に臨む。(2h) 【事前学習】授業の後には、授業内容に関連する書籍や論文を読み、授業についての理解を深める。(2h)		
キーワード / Keywords	リスク社会、不安、宗教、民族主義、排外主義、歴史認識、災害、移動、教育格差、経済格差、貧困、差別、虐待、移民、難民、テロリズム、紛争		
教科書・教材・参考書 / Materials	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	はじめに 「リスク社会」とは何か （滝澤克彦）
第2回	リスク社会論における「不安」の再検討 （南誠）
第3回	リスク社会における「境界文化」研究の可能性 （南誠）
第4回	現代社会におけるリスクと宗教（1） （滝澤克彦）
第5回	現代社会におけるリスクと宗教（2） （滝澤克彦）
第6回	リスク社会における子供（1） （見原礼子）
第7回	リスク社会における子供（2） （見原礼子）
第8回	途上国における母子保健課題 （小松悟）
第9回	途上国貧困社会におけるリスクの多様性 （小松悟）
第10回	現代社会が抱える環境問題 （ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ）
第11回	カザフスタンの環境問題 （ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ）
第12回	リスク社会における国連の役割 （ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ）
第13回	国連平和維持活動と紛争の解決 （ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ）
第14回	紛争とリスク社会 （コンベル・ラドミール）
第15回	リスク社会と安全 （コンベル・ラドミール）

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/06/11 ~ 2020/08/05		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200590090501	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時、在室ならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、そ の多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再 建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼 して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平 和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎 的資料と基本的な分析理論を提供しゆとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪ねてください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Keywords	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、テロ、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は戸田清『なぜ戦争が起こるか』仮題、近刊。プリント資料を適宜配布し、またスライド、 DVD、ビデオなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋、舟越編『ナガ サキから平和学する』法律文化社2009年など。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	受講要件は特にない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/	
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。IS邦人質事件などにも関心。原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	山川 剛/長崎平和推進協会、長崎の証言の会をとおして1998年からの被爆体験の語り手としての実務経験を有している。/担当予定教員は、8歳で被爆し、長崎市平和推進協議会、長崎証言の会、長崎被爆教職員会の会の会員として、活水高校での長崎平和学の担当、被爆体験講和等を行い、長崎の被爆の語り部として勤めてきた実務経験を活かし、学生に長崎の歴史を伝える授業を実施する。/ 西岡 由香/日本の漫画家。長崎県長崎市出身。「さらん」のペンネームも持つ。1999年に平和団体ピースポート主催による地球一周クルーズへの参加をきっかけに、平和をテーマにした漫画を数多く執筆した経験を有している。/著名な漫画家で郷土史（キリスト教関係など）と長崎原爆に詳しく、ピースポートでのパレスチナ訪問など海外経験などの実務経験を活かした内容（「世界から見たナガサキ」「原爆とキリスト教」を演題）で授業を実施する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	
1 6月17日5限	戸田 日本軍七三一部隊	
2 6月17日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦	
3 6月24日5限	国武雅子 戦争と性暴力	
4 6月24日6限	国武 日本軍「慰安婦」問題	
5 7月1日5限	国武 戦争と国民生活の統制	
6 7月1日6限	国武 女性参政権運動と戦争協力	
7 7月8日5限	山川剛 長崎原爆とその後	
8 7月8日6限	戸田 死刑制度について、劣化ウラン弾について	
9 7月15日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる	
10 7月15日6限	休講	
11 7月22日5限	西岡由香 世界から見たナガサキ 90分間世界一周	
12 7月22日6限	西岡 いのちを守るまちづくり	
13 7月29日5限	篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保1	
14 7月29日6限	篠崎 有事体制と長崎・佐世保2	
15 8月5日5限	富塚明 原発と核燃料サイクル	
16 7月31日6限	富塚 核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判	なお定期試験はありません

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/18		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200590090502	科目番号 / Course code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Course title	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Course Category	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、 その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し」、国家 再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信 頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、 平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基 礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Course goals	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平等と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業期間中の任意の日時に、岡まさはる記念長崎平和資料館(月曜休館、JR長崎駅前のNHK横の 坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先)を訪問してください。そのレポートを提出すれば 加点します。なお長崎原爆資料館のレポートも加点になります。		
キーワード/Keywords	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、集団的自衛権、テロ		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は戸田清『なぜ戦争が起こるか』仮題、近刊。プリント資料を適宜配布し、またスライド、 ビデオ、DVDなどを利用して、講義の理解を深めるのに役立てる。参考書は高橋・舟越編『ナガ サキから平和学する』法律文化社2009年、など。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	受講要件は特になし。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	http://todakiyosi.web.fc2.com/
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。ISの人質事件などにも関心をもってほしい。長崎原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	川副氏は被爆者の立場から、山崎氏は被爆二世の立場から、長崎原爆についての語り部活動を長年行ってきた。関口氏は、NBC社員として、定年退職後はフリーランスとして、長年原爆や平和の報道に携わってきた。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1 9月30日5限	戸田清 日本軍七三一部隊
2 9月30日6限	戸田 ナチスドイツのT4作戦
3 10月7日5限	富塚明 原発と核燃料サイクル
4 10月7日6限	戸田 死刑制度について
5 10月14日5限	国武雅子 戦争と性暴力
6 10月14日6限	国武 日本軍「慰安婦」問題
7 10月21日5限	国武 戦争と国民生活の統制
8 10月21日6限	国武 女性参政権運動と戦争協力
9 10月28日5限	川副忠子 長崎原爆と平和教育、核兵器廃絶運動
10 10月28日6限	戸田 沖縄の枯れ葉剤、劣化ウラン弾について
11 11月4日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
12 11月4日6限	富塚明 核兵器廃絶運動、原爆症認定裁判
13 11月11日5限	富塚 日米関係を考える
14 11月11日6限	関口 長崎原爆を報道する
15 11月18日5限	関口 長崎原爆を報道する 集団的自衛権
16 11月18日6限	休講 定期試験は行いません。